





クソ…
何だよ…



疎遠になった
遠い親戚から

呼ばれて
来てみたは
いいけど…



とんでもない
田舎だし…



途中で迎えに
来るって
言ってたけど…

あ！
いたいた！

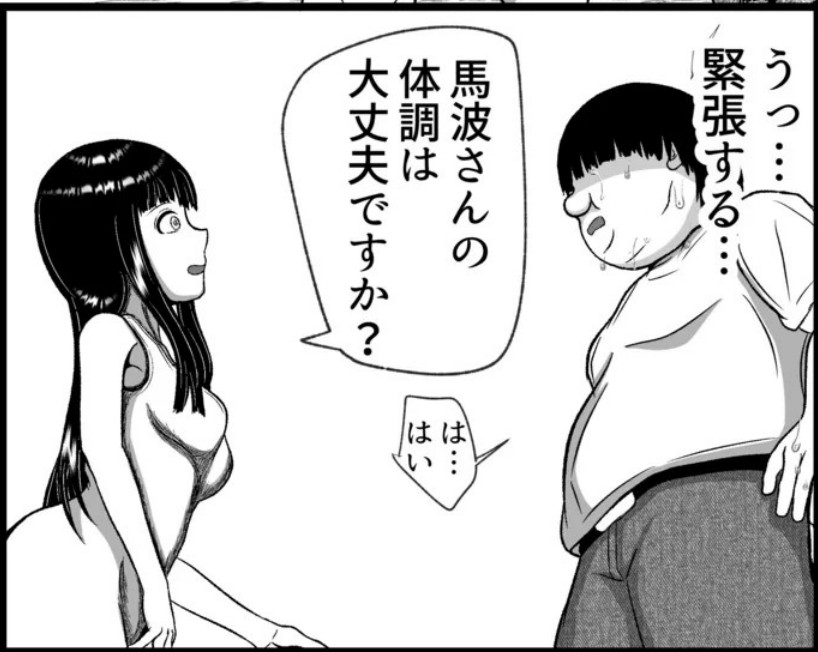


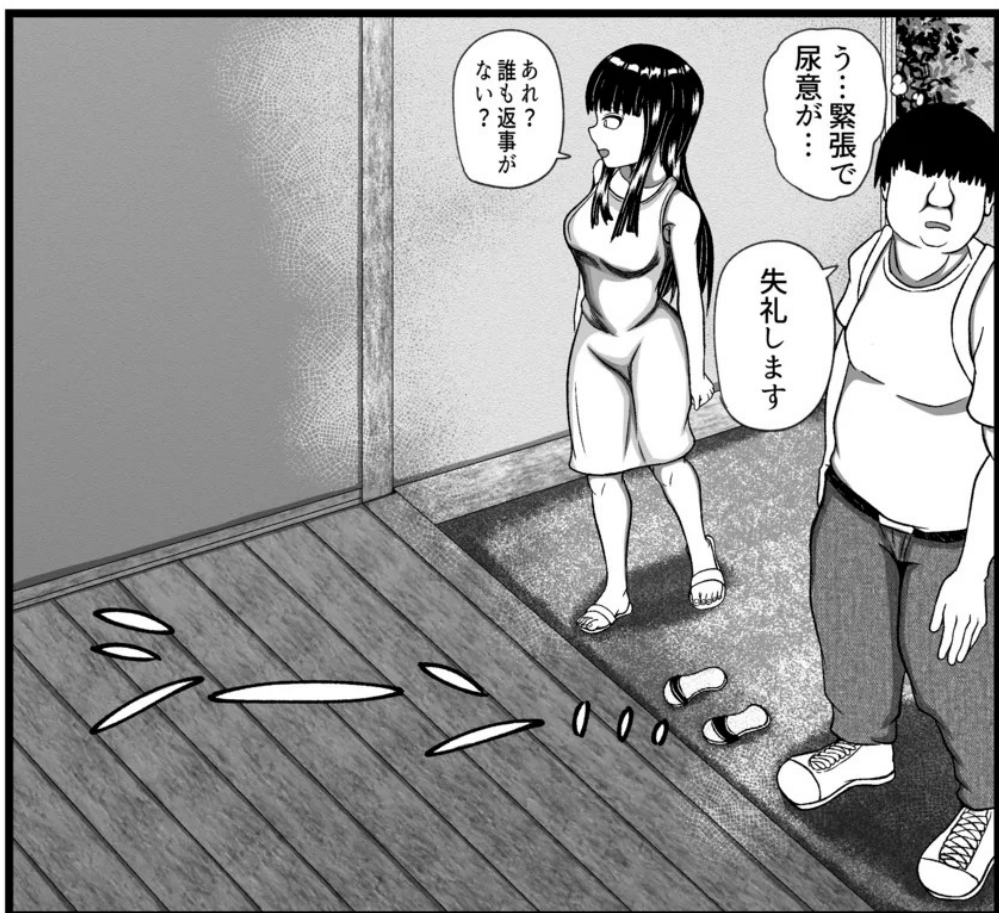
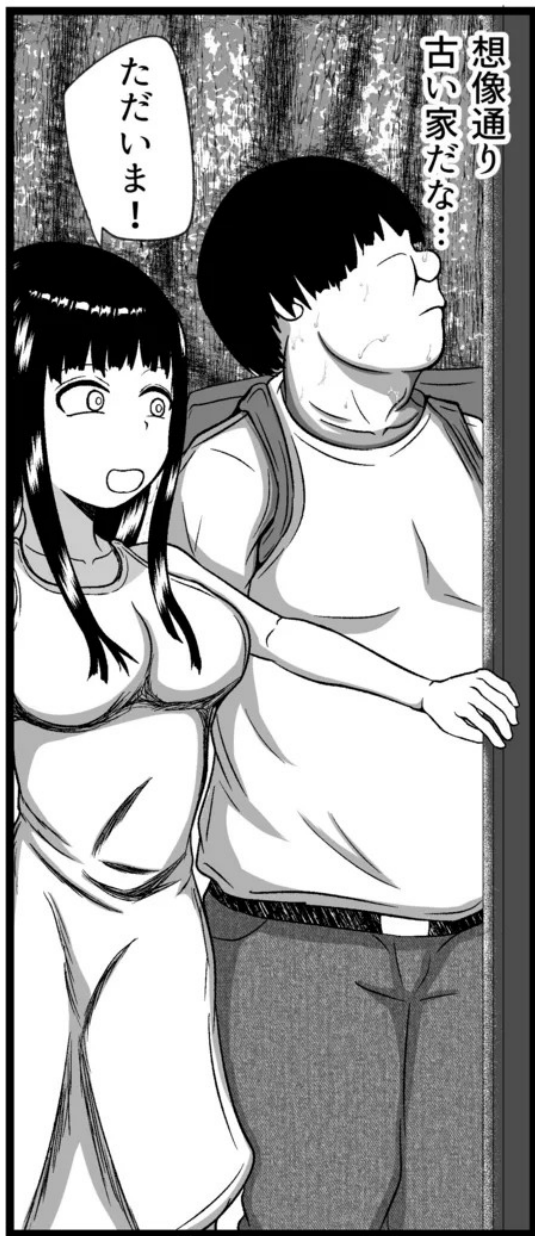
一体いつまで
歩けば
いいんだ？

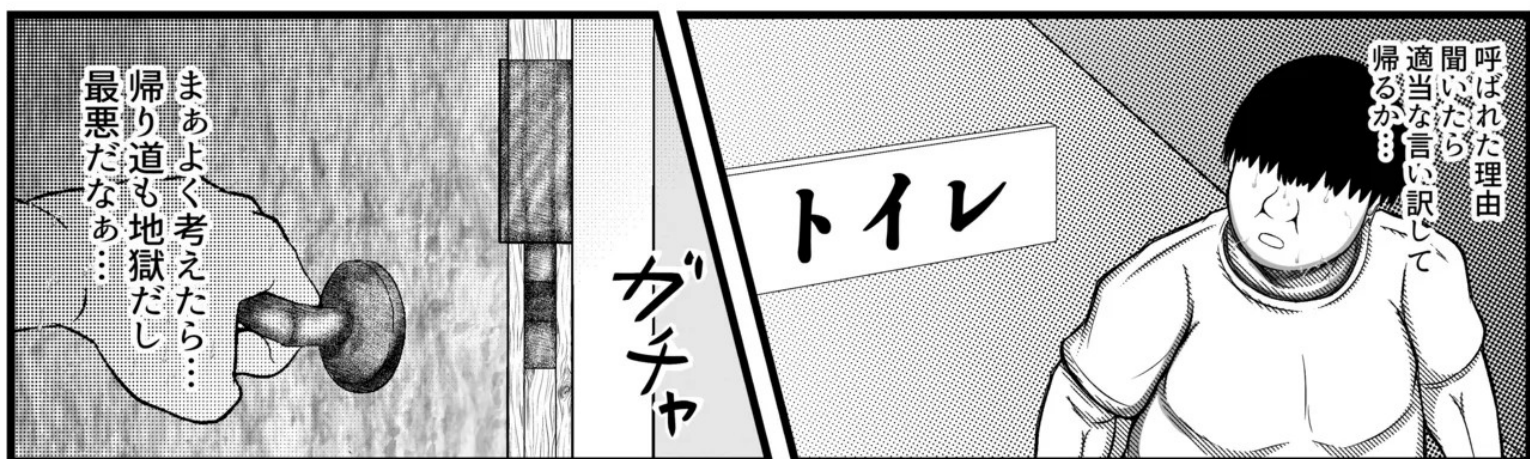
スマホも
ずっと
圏外だし…

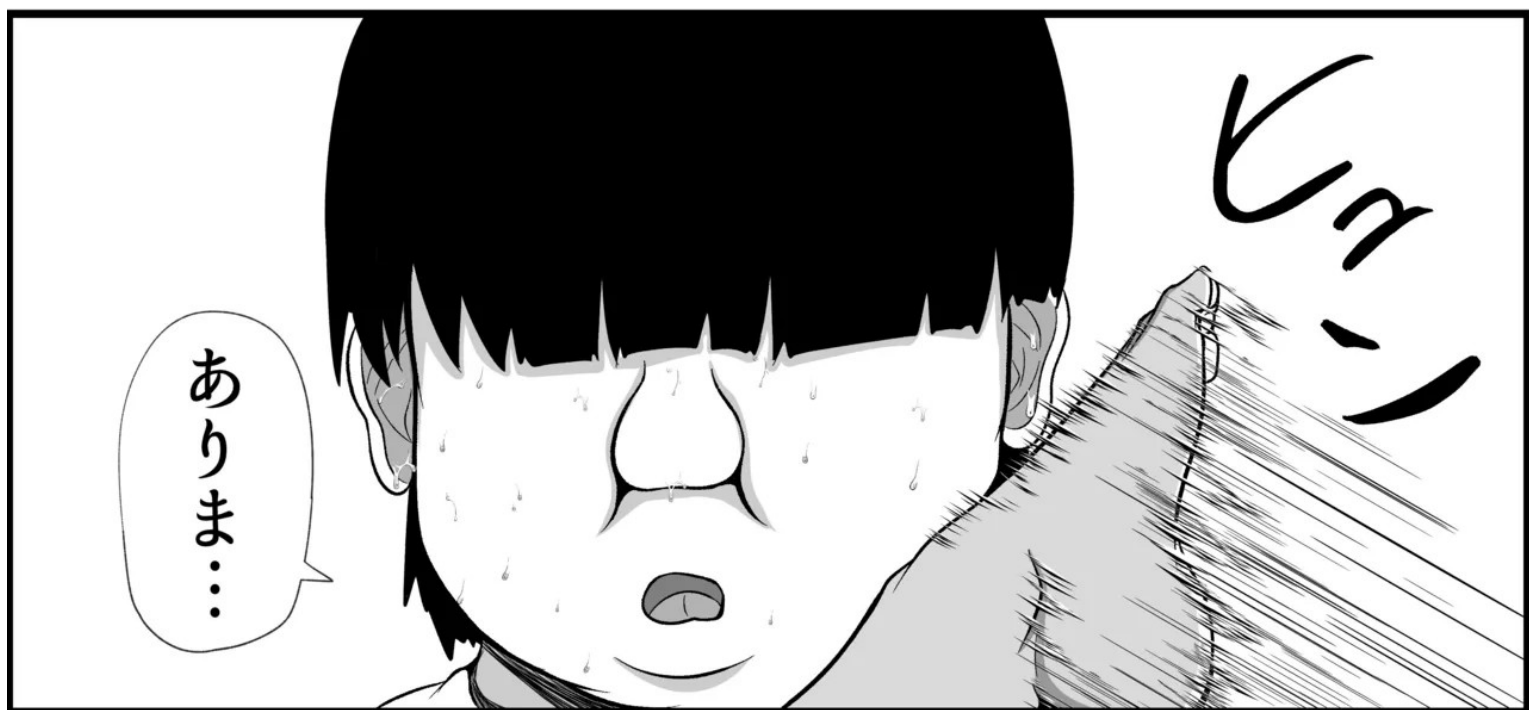
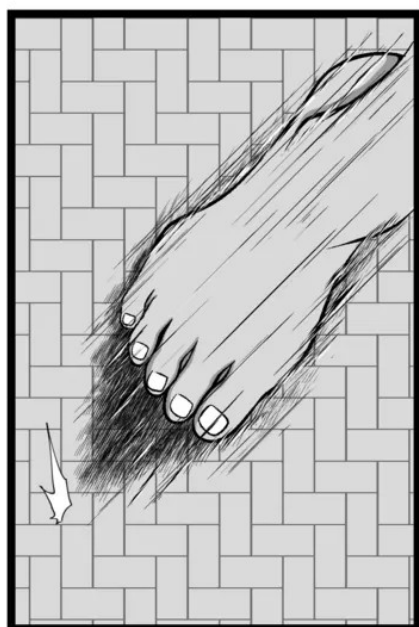
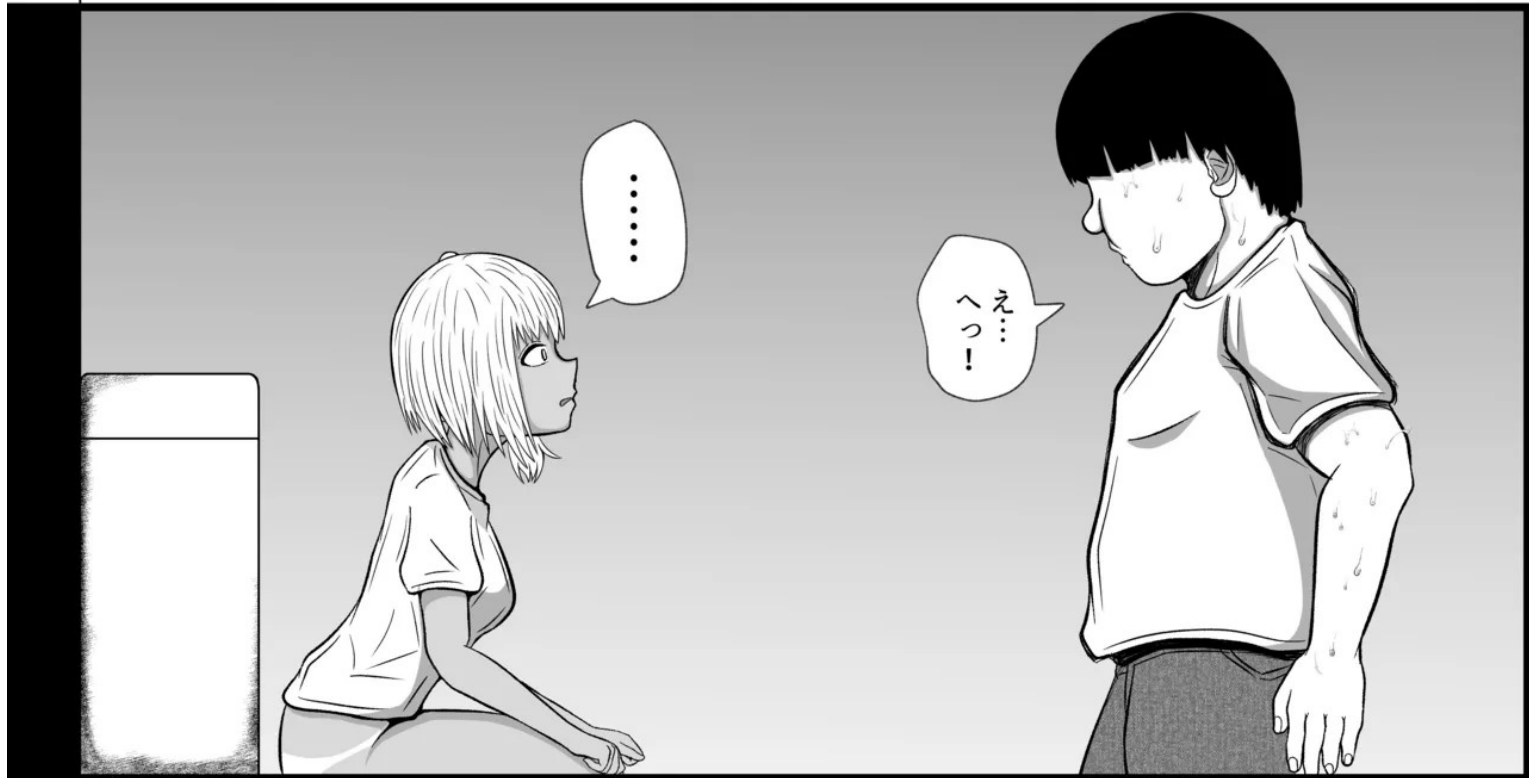
は…
は…

うまなみ
馬波 こん太郎
年齢 35歳

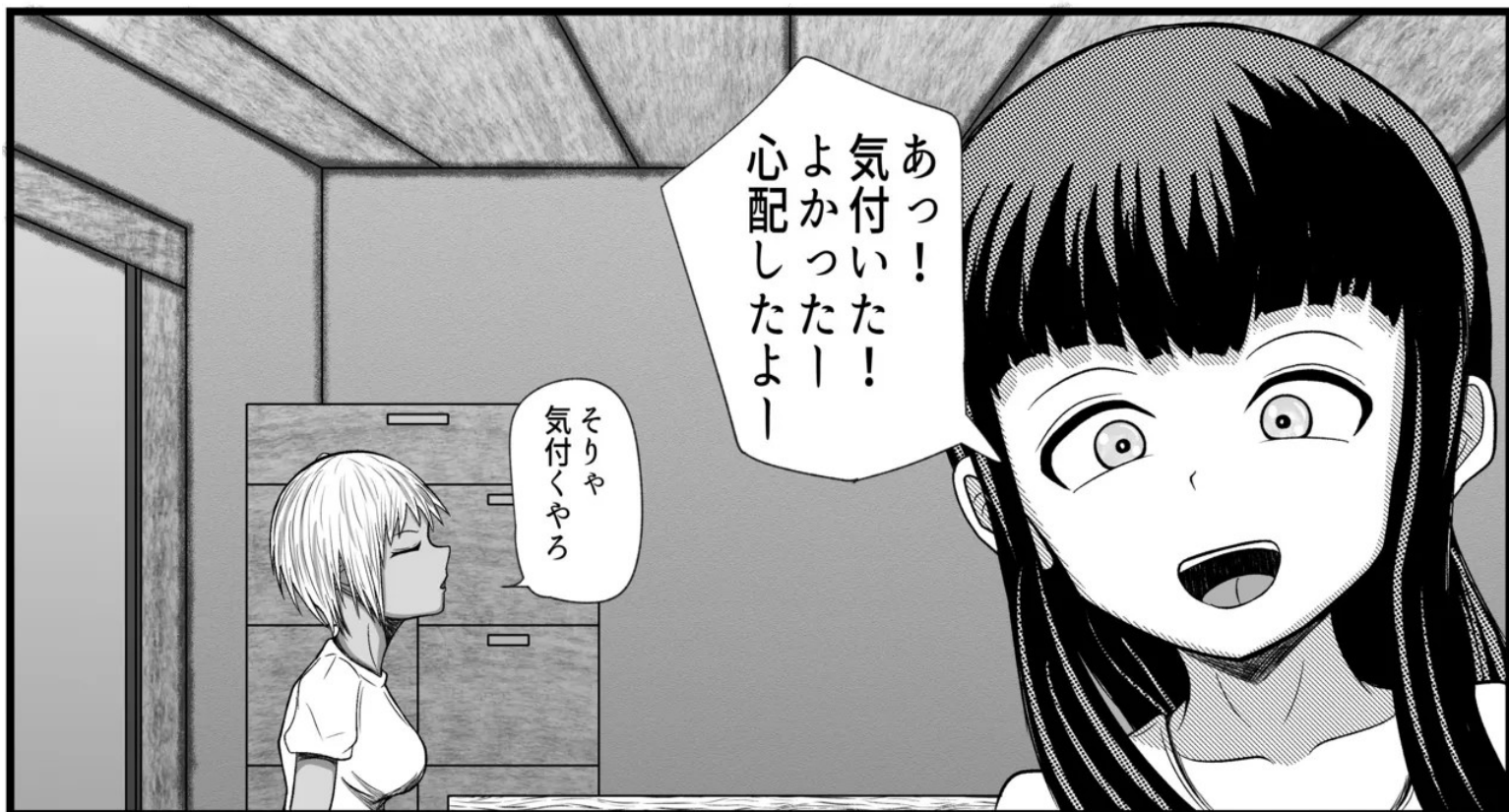


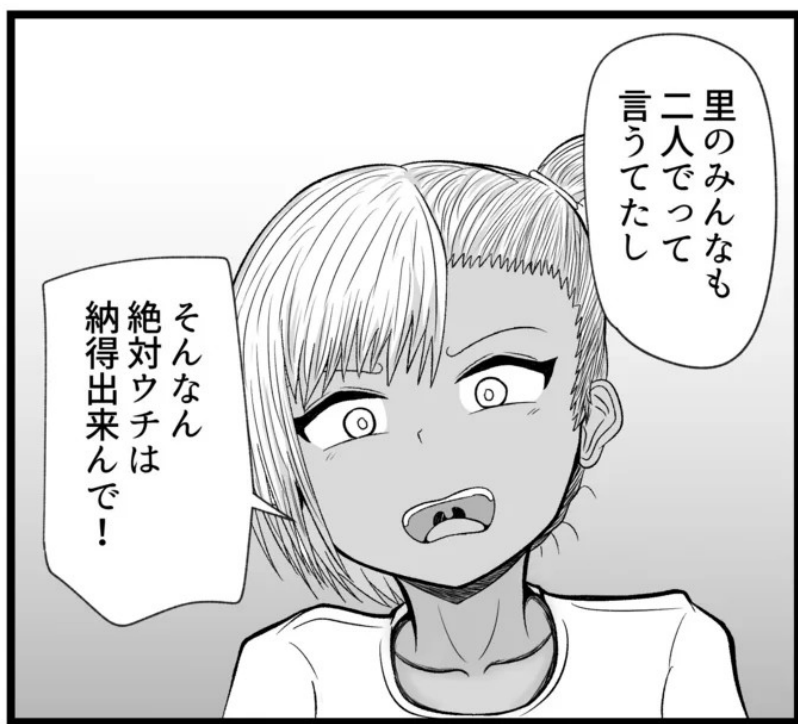


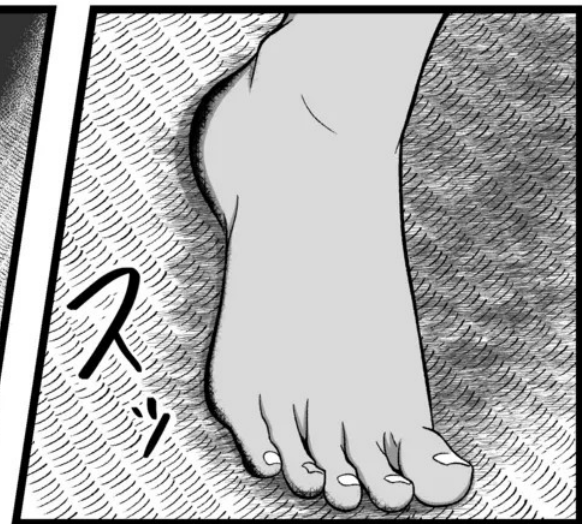
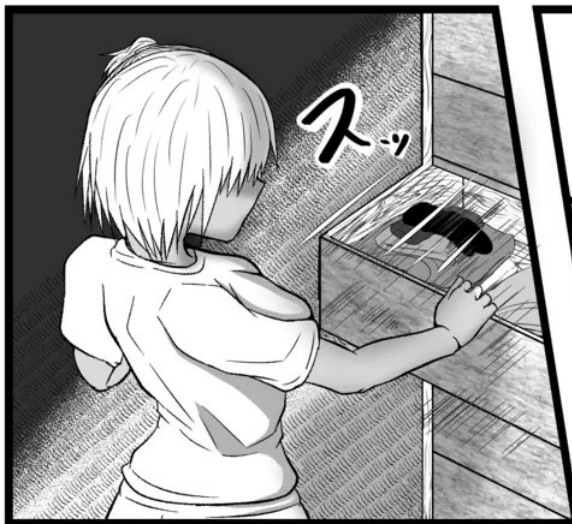
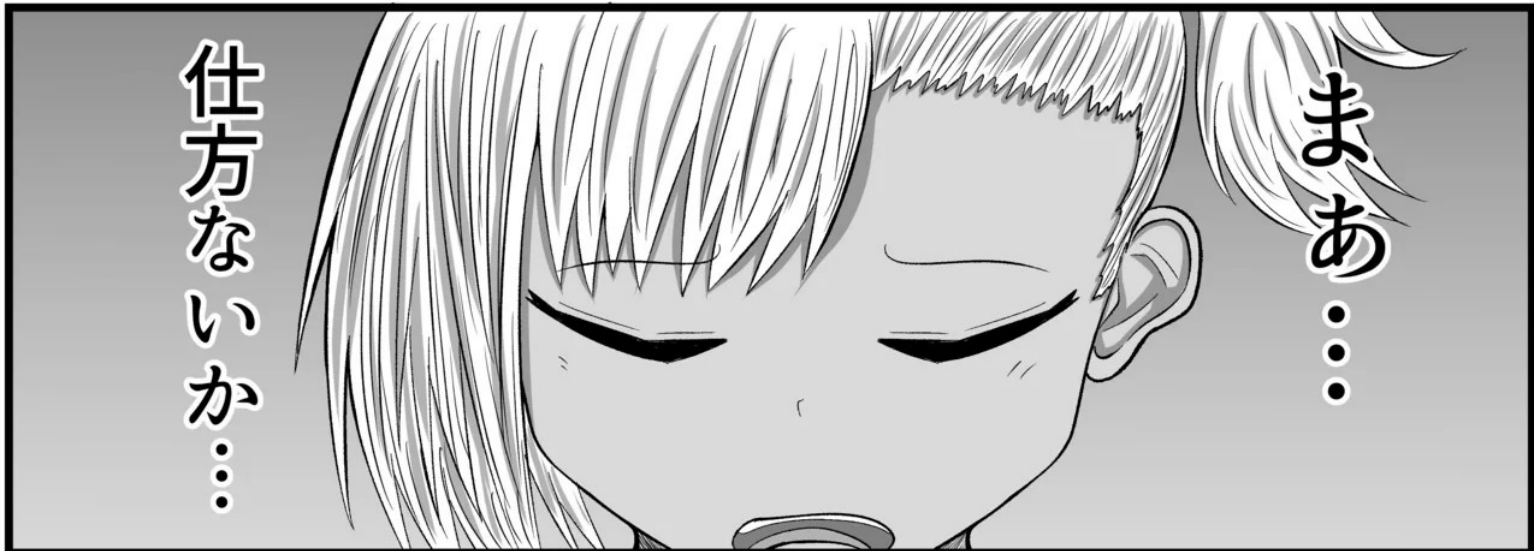
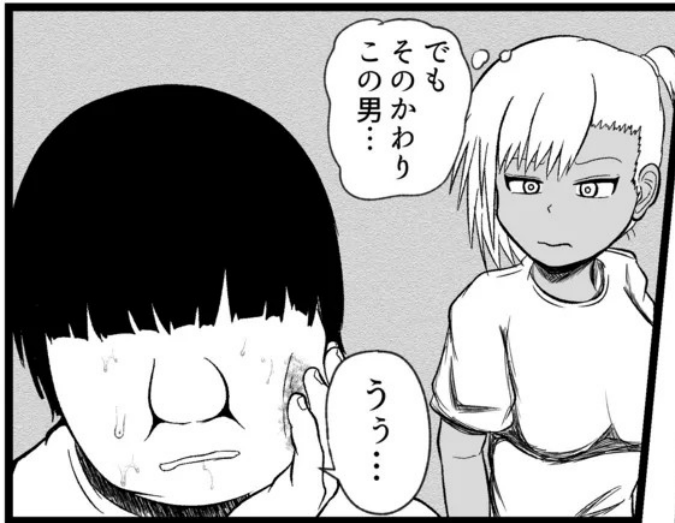


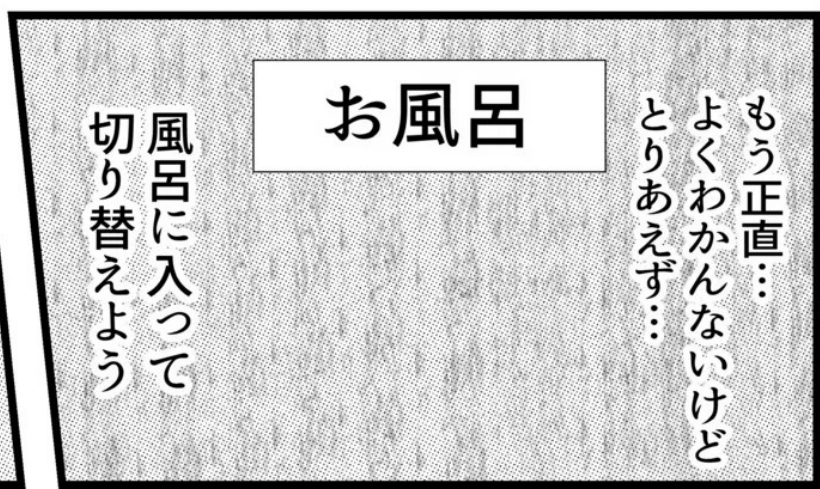


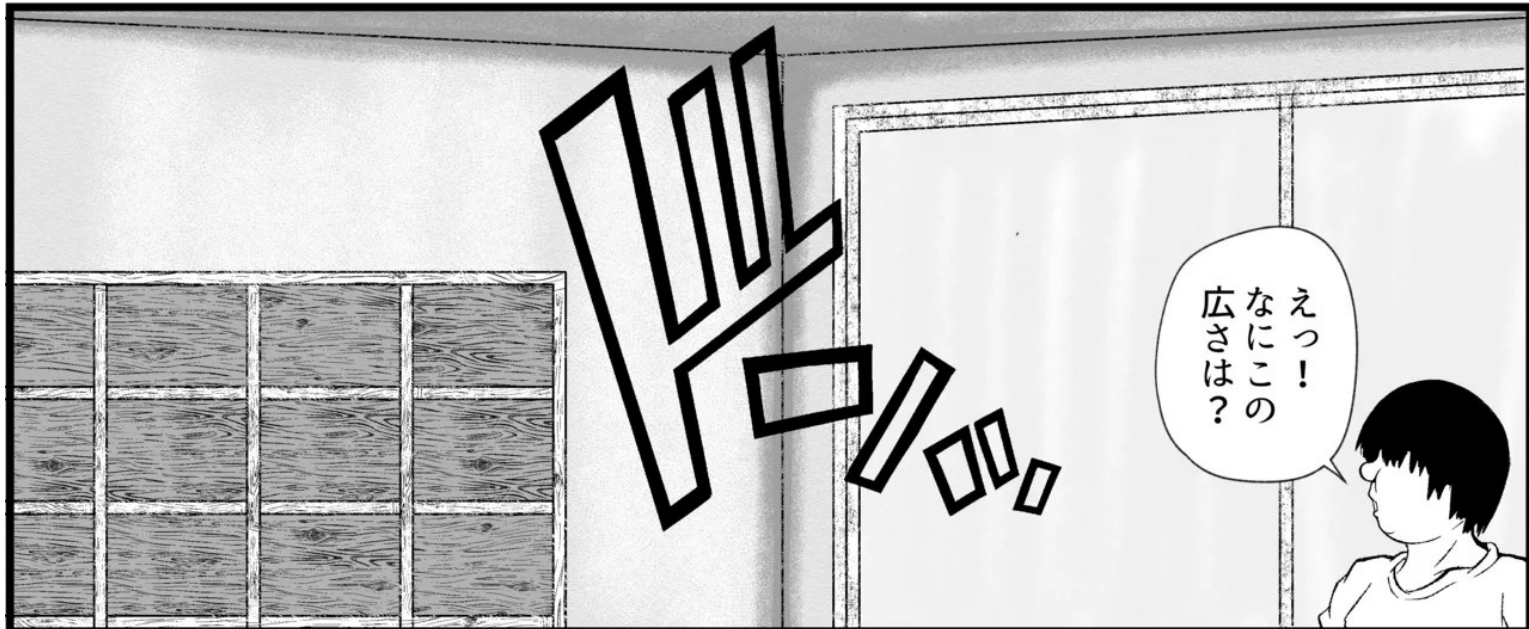




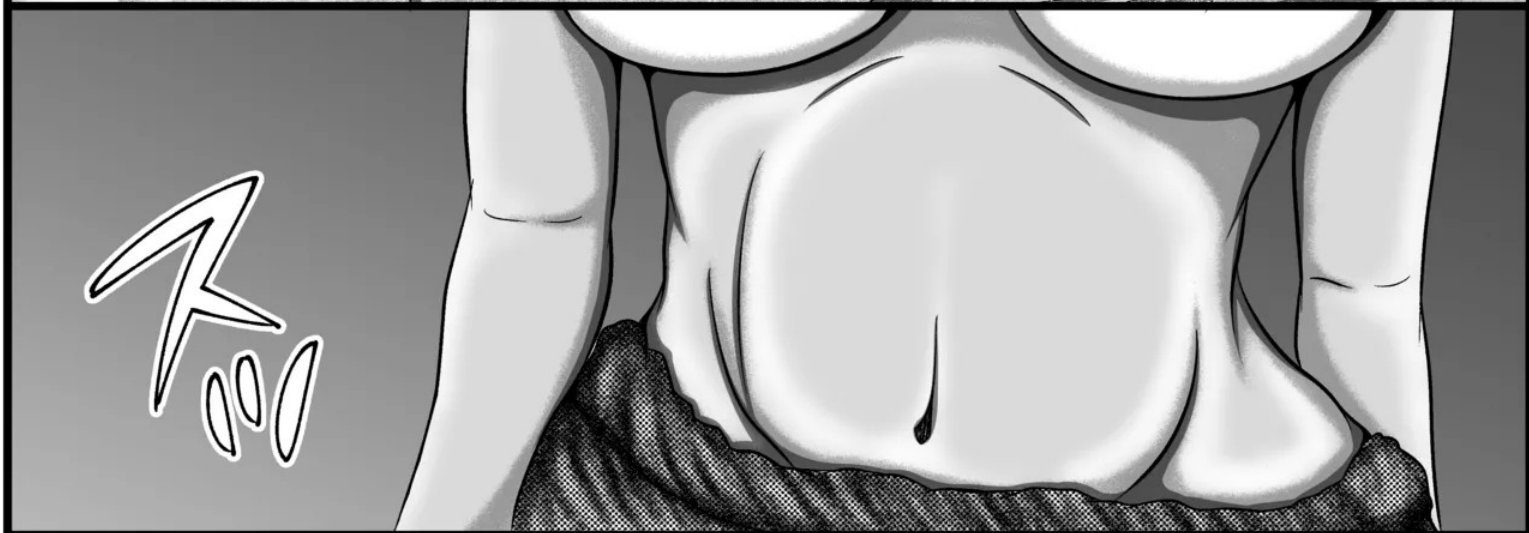


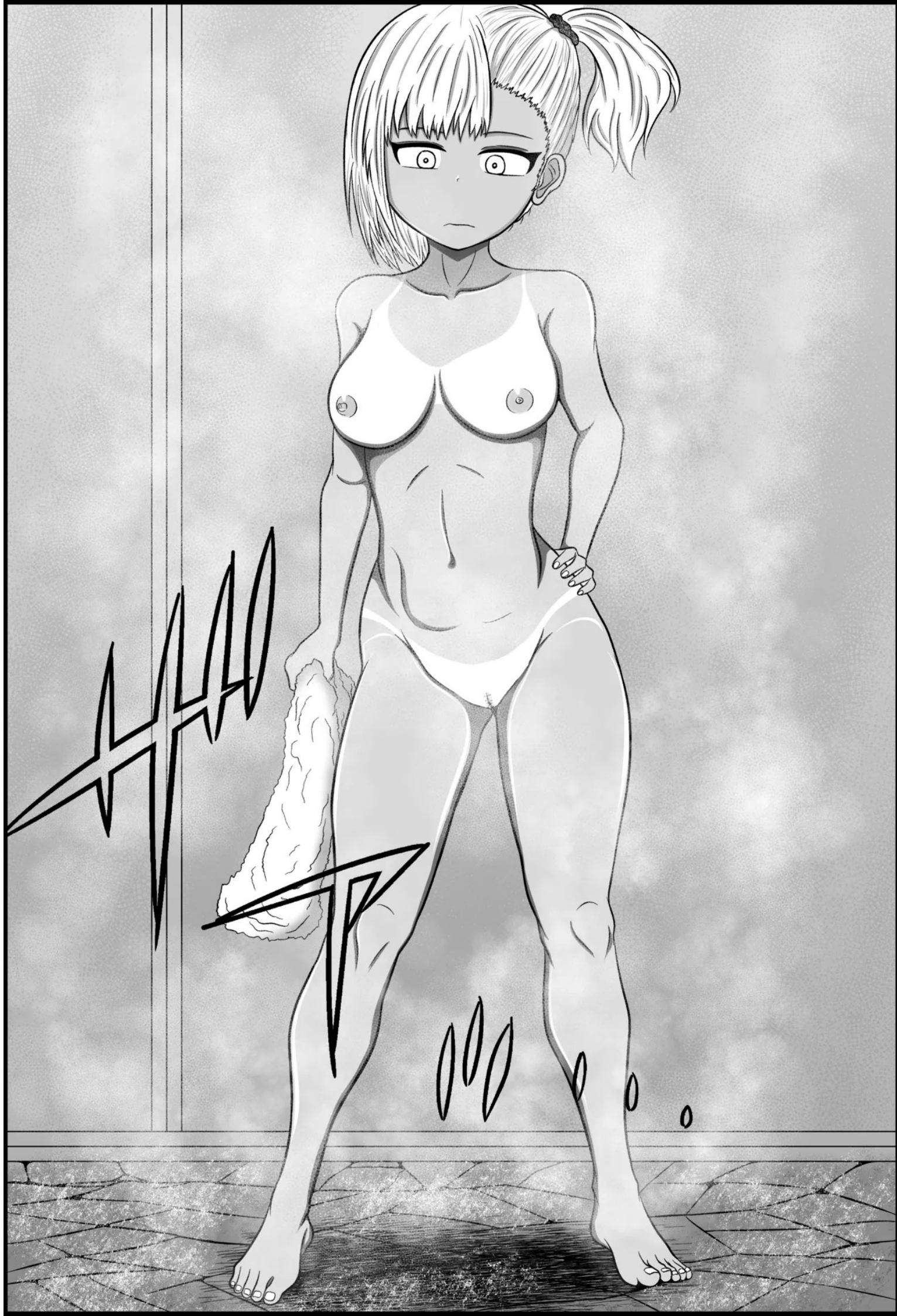








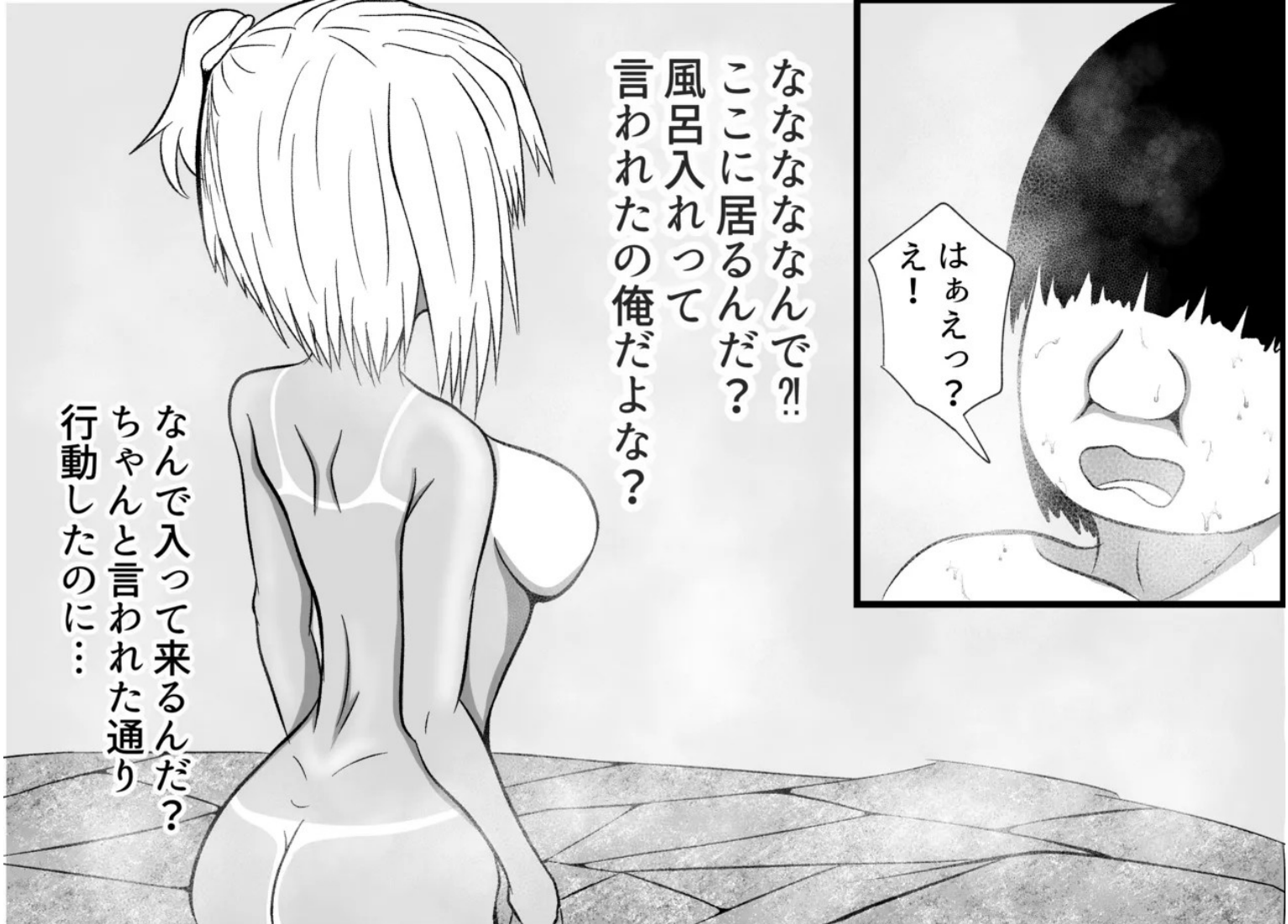






なななななんで？！
ここに居るんだ？
風呂入れって
言われたの俺だよな？

なんで入って来るんだ？
ちゃんと言われた通り
行動したのに…



ヤッ

もしかして！
ここは女湯で
男湯は
別にあるのか？！
いや混浴の
可能性も…



それにしても…
日焼け女子の裸…
初めてみた…

正直めちゃくちゃ
エロいし興奮する

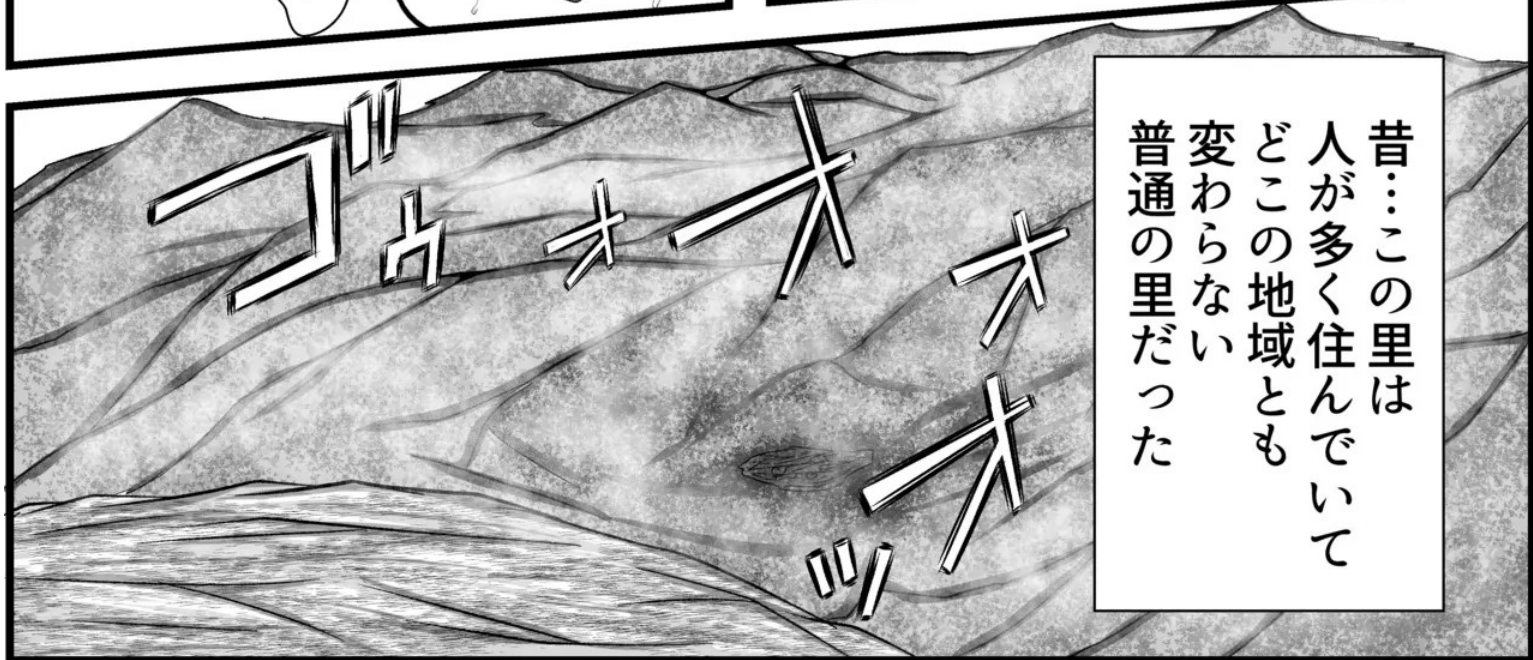


ねえ
一つ聞きたいん
だけどさ…

へ？！







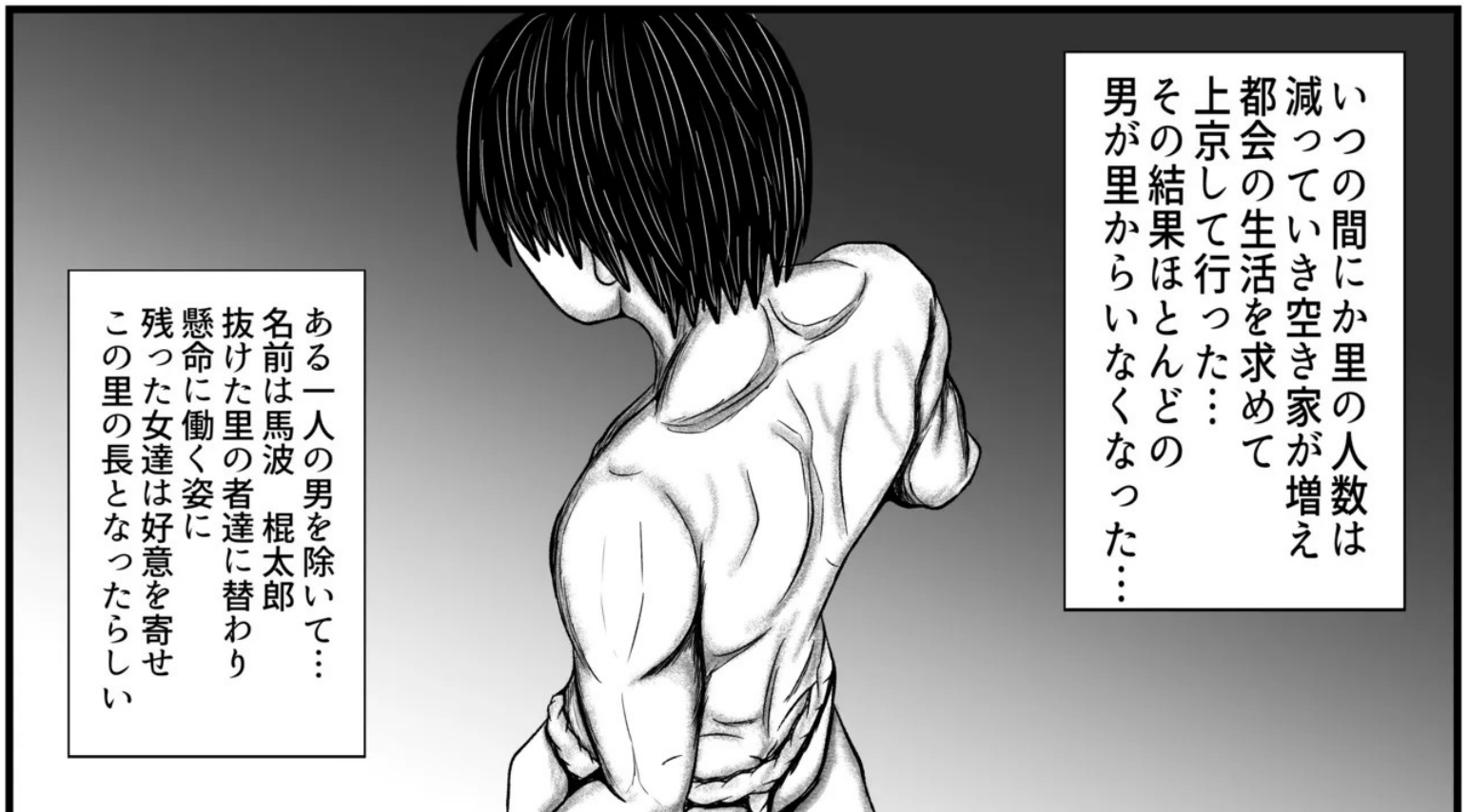


そして時代が進み
都会は凄い！って
噂が里に入ってきて
里の一定数は
都会に憧れたらしい

まあ田舎の人間は
都会に憧れるのは
あるあるだし
今では普通の
考えやけど



当時はそれが
大問題になった

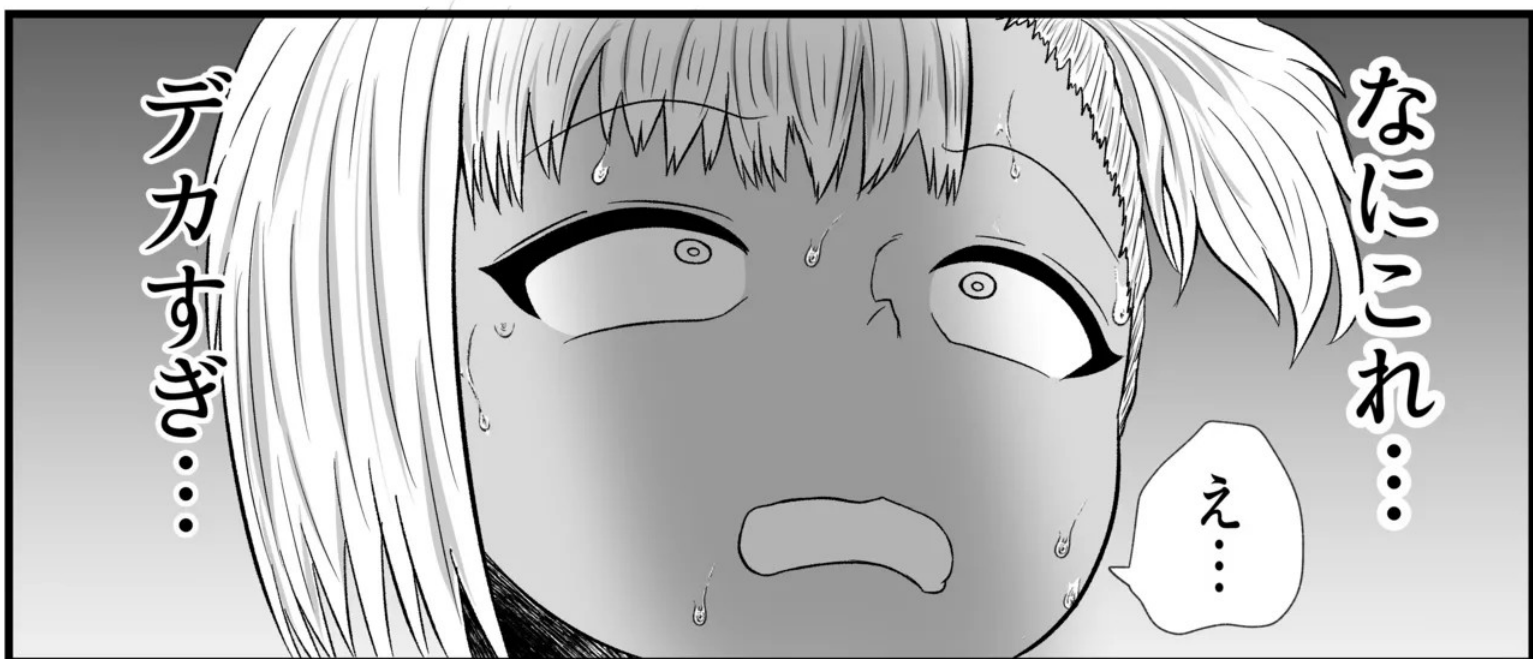
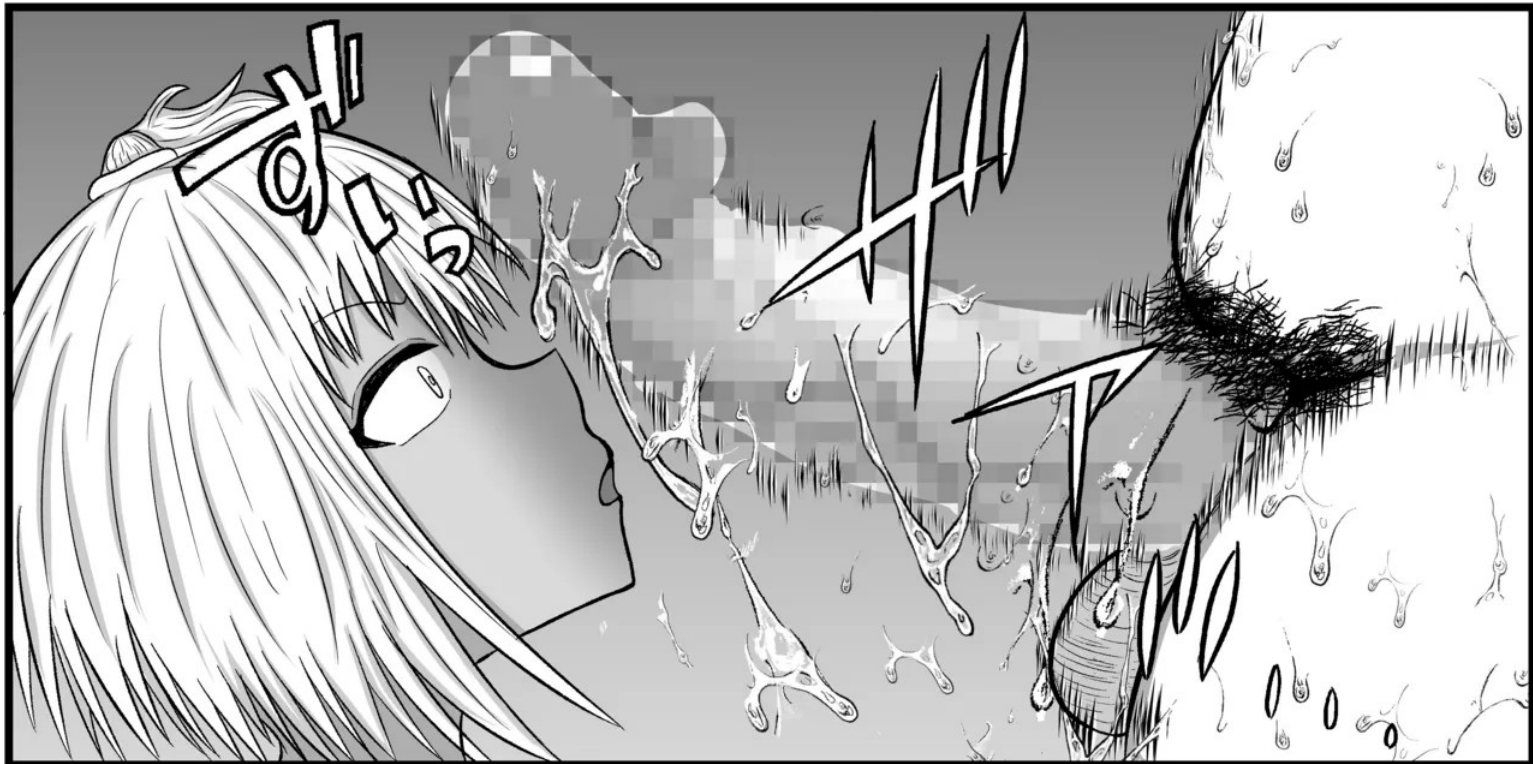


いつの間にか里の人数は
減っていき空き家が増え
都会の生活を求めて
上京して行っただけ…
その結果ほとんどの
男が里からいなくなった…

ある一人の男を除いて…
名前は馬波 棍太郎
抜けた里の者達に替わり
懸命に働く姿に
残った女達は好意を寄せ
この里の長となったらしい



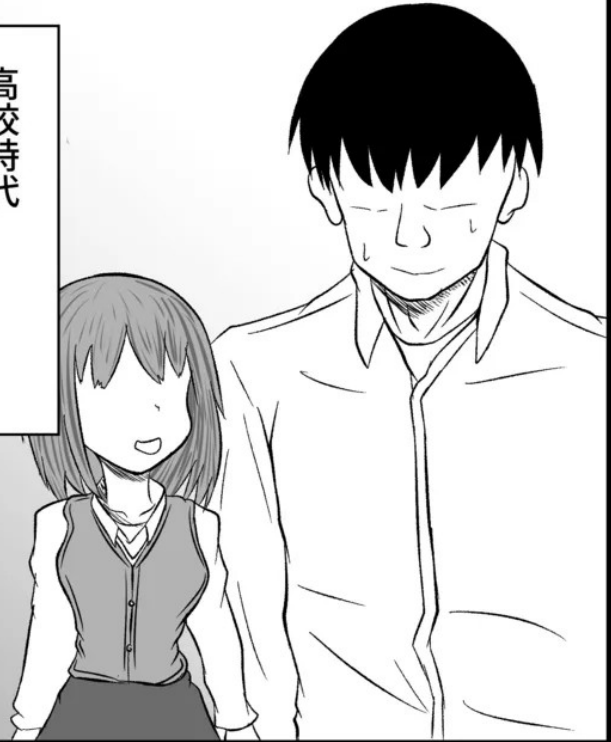




口下手な俺に
優しくて
とても好きだった



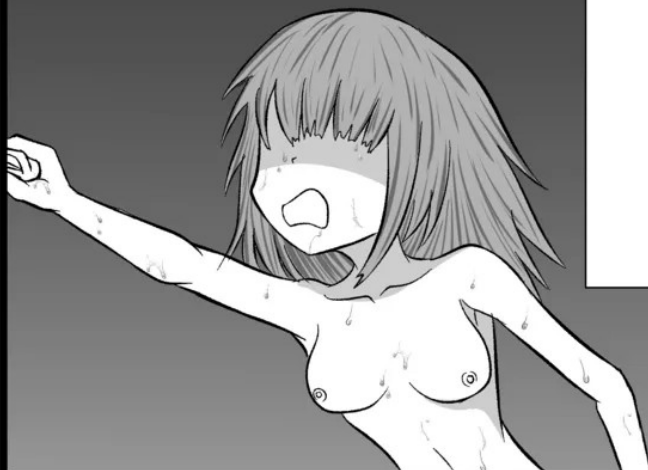
高校時代
強引な勧誘を受けて
入部した柔道部で
初めて彼女が出来た



そして
時間と共に
お互いの距離は
近づき…



悲劇は起きた



それ以降の俺は自分に
自信が持てなくて
社会でも…



逆にこの巨根は
ビッチな奴にウケて
セックスを誘われたが
俺はビビってしまった

試したくね？

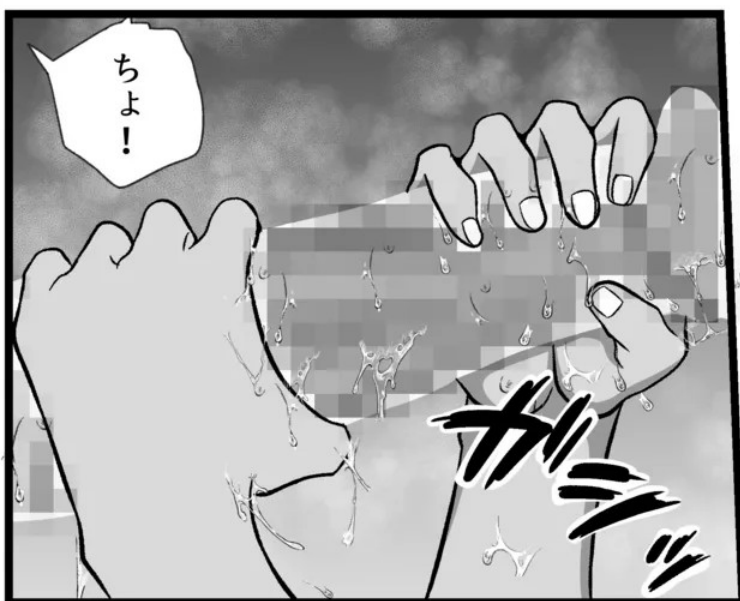
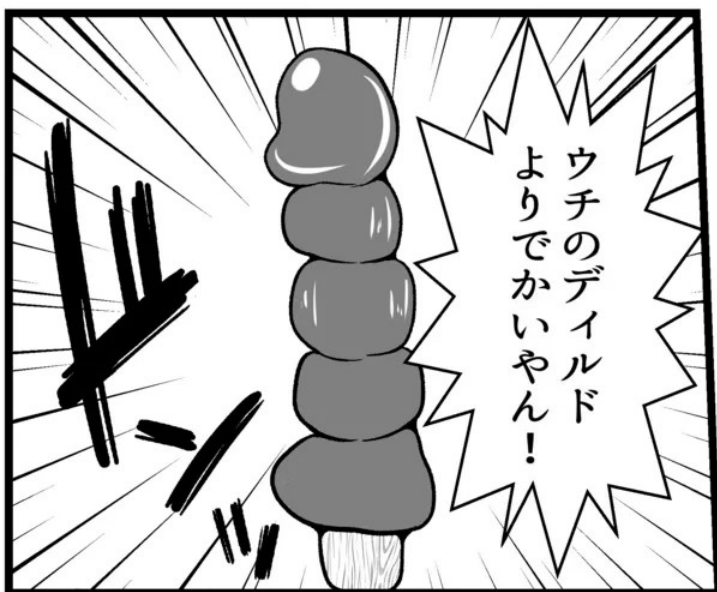
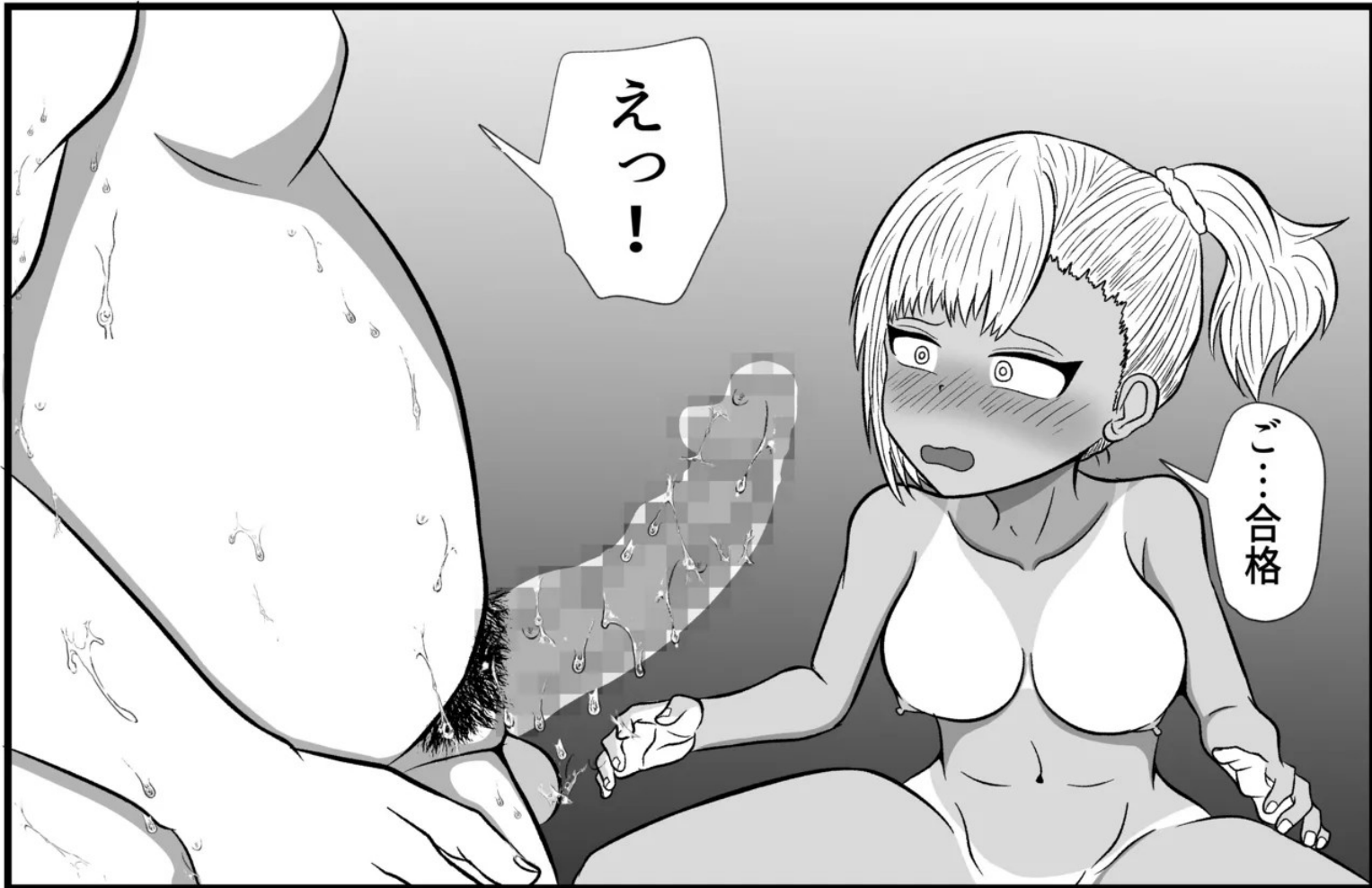
うらやましいな

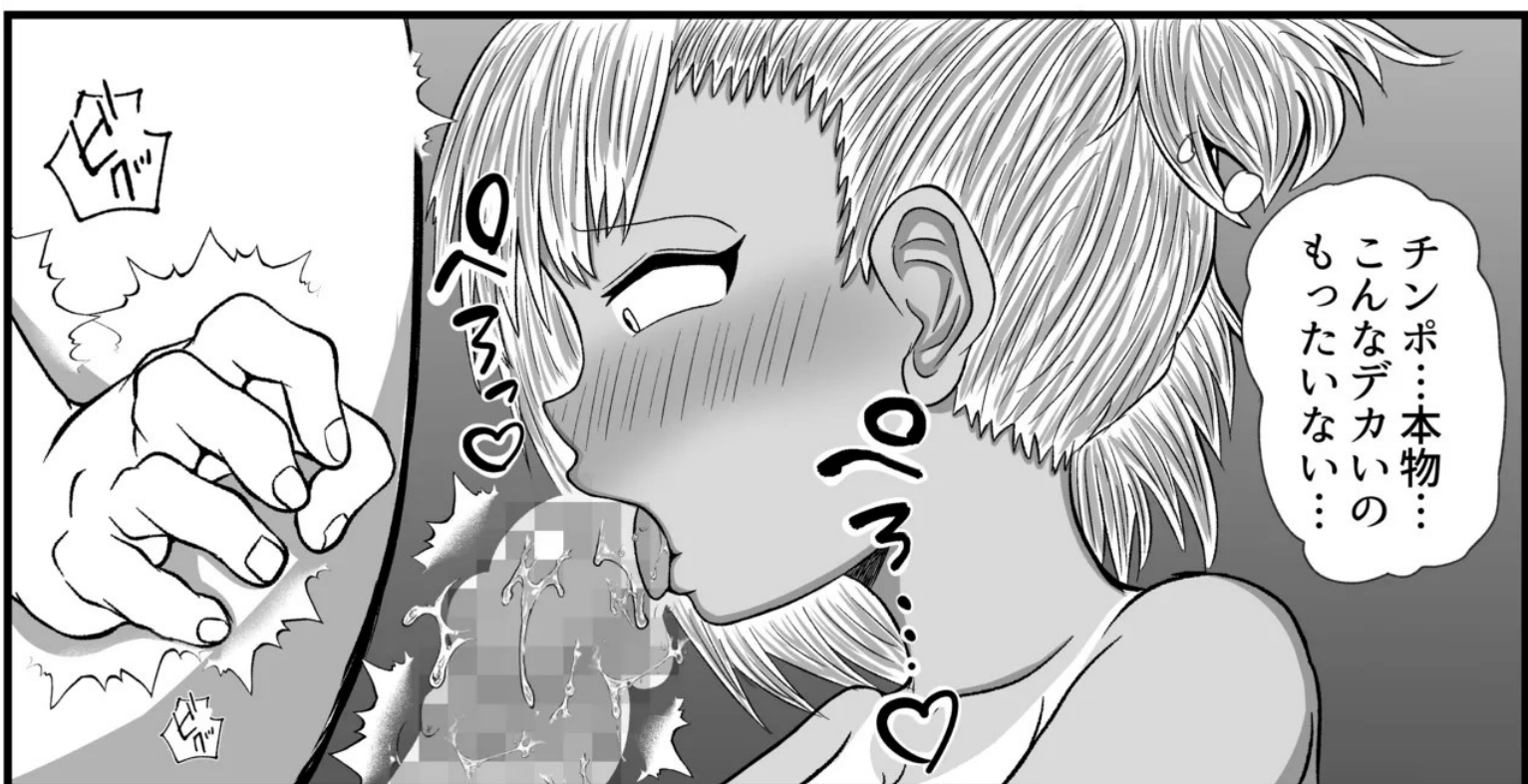
もう
化物だって

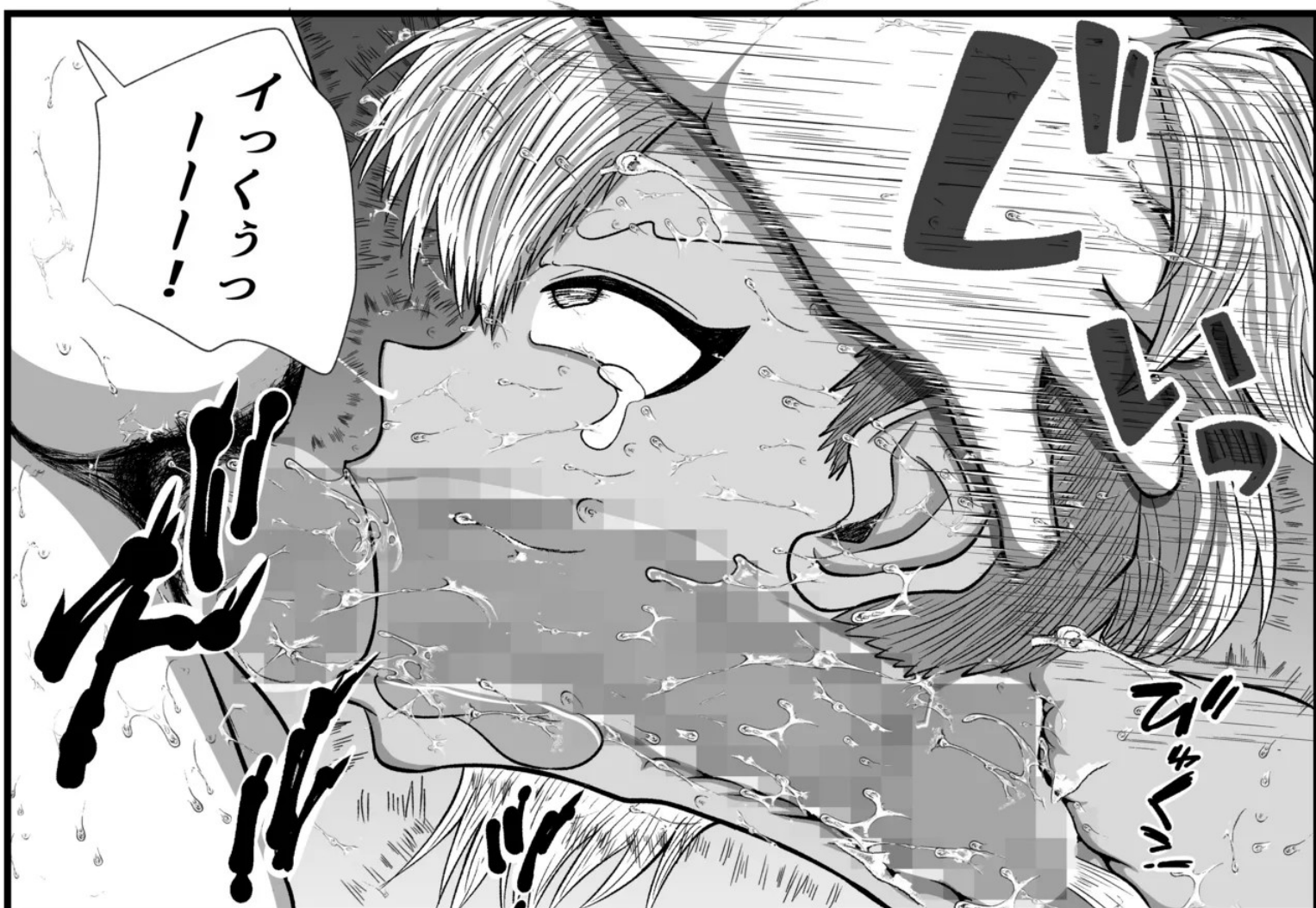
桁外れのサイズに
恐怖した彼女に
別れを告げられ
学校に噂は広がった

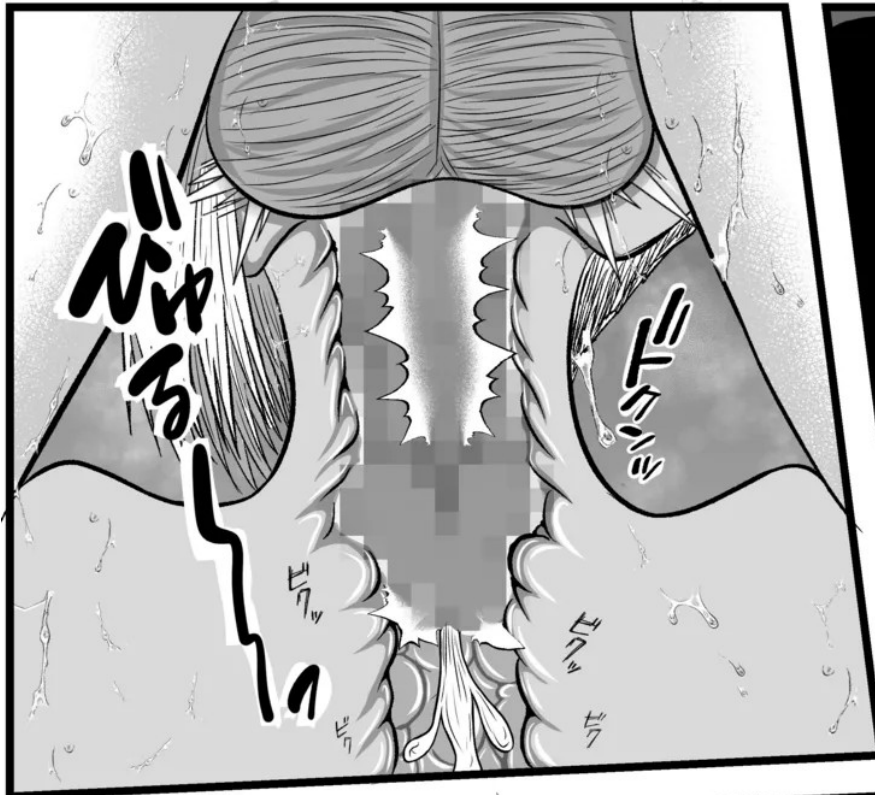
マジでかい
らしいよ

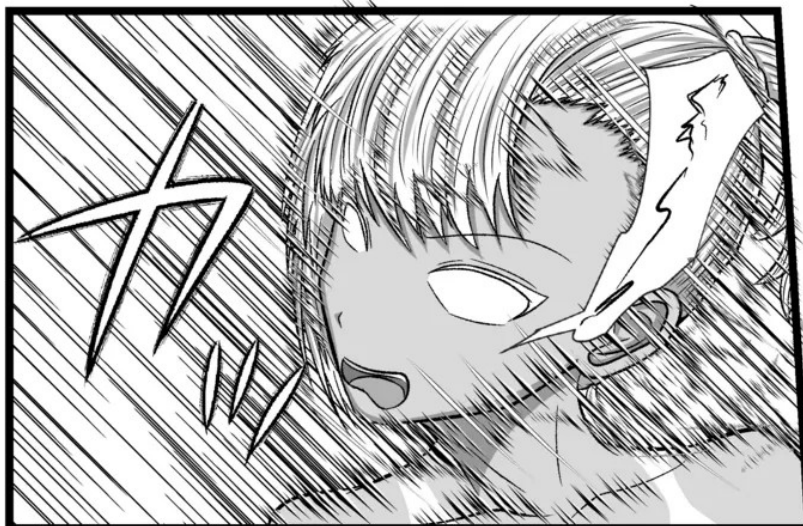


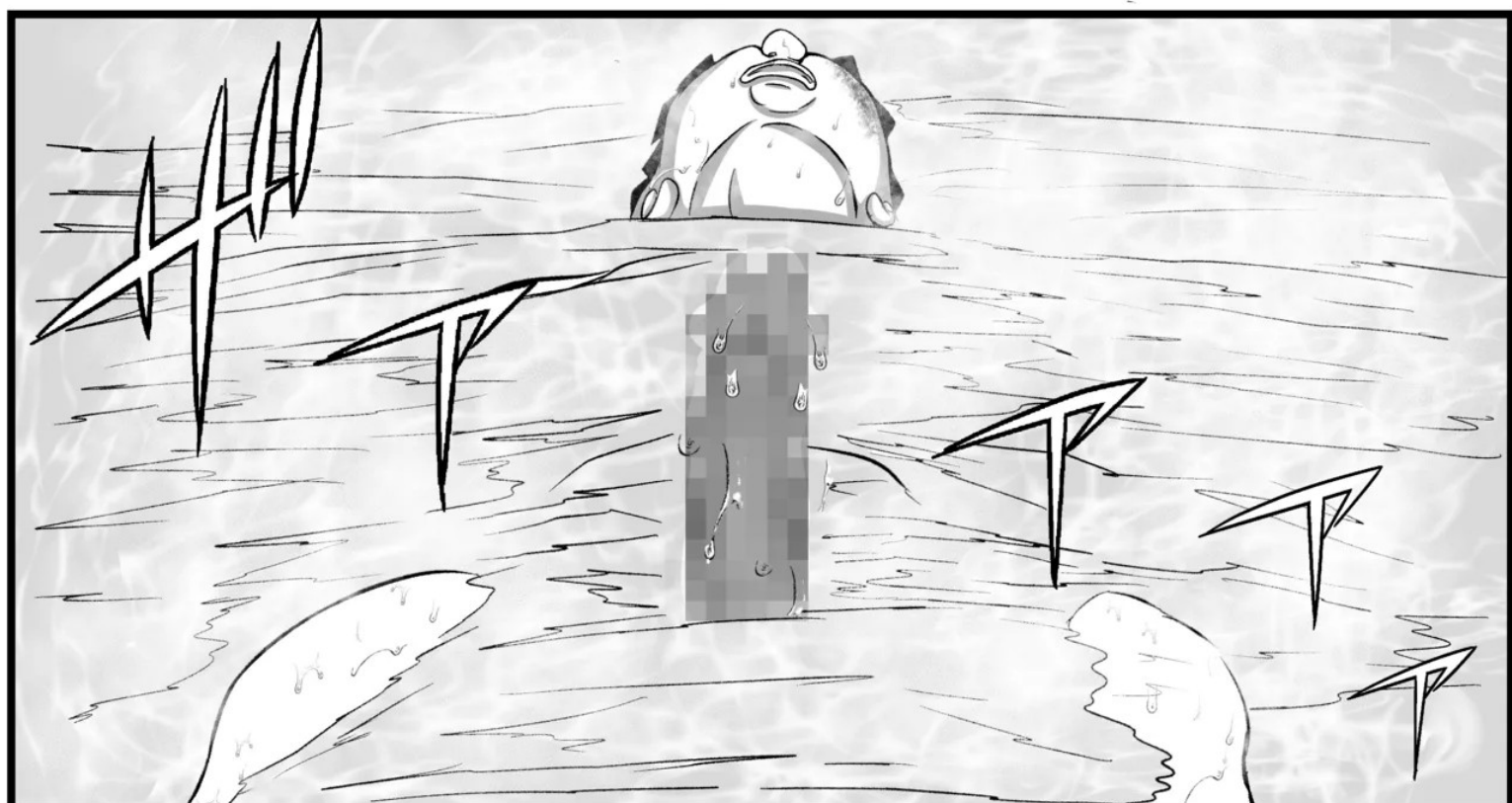




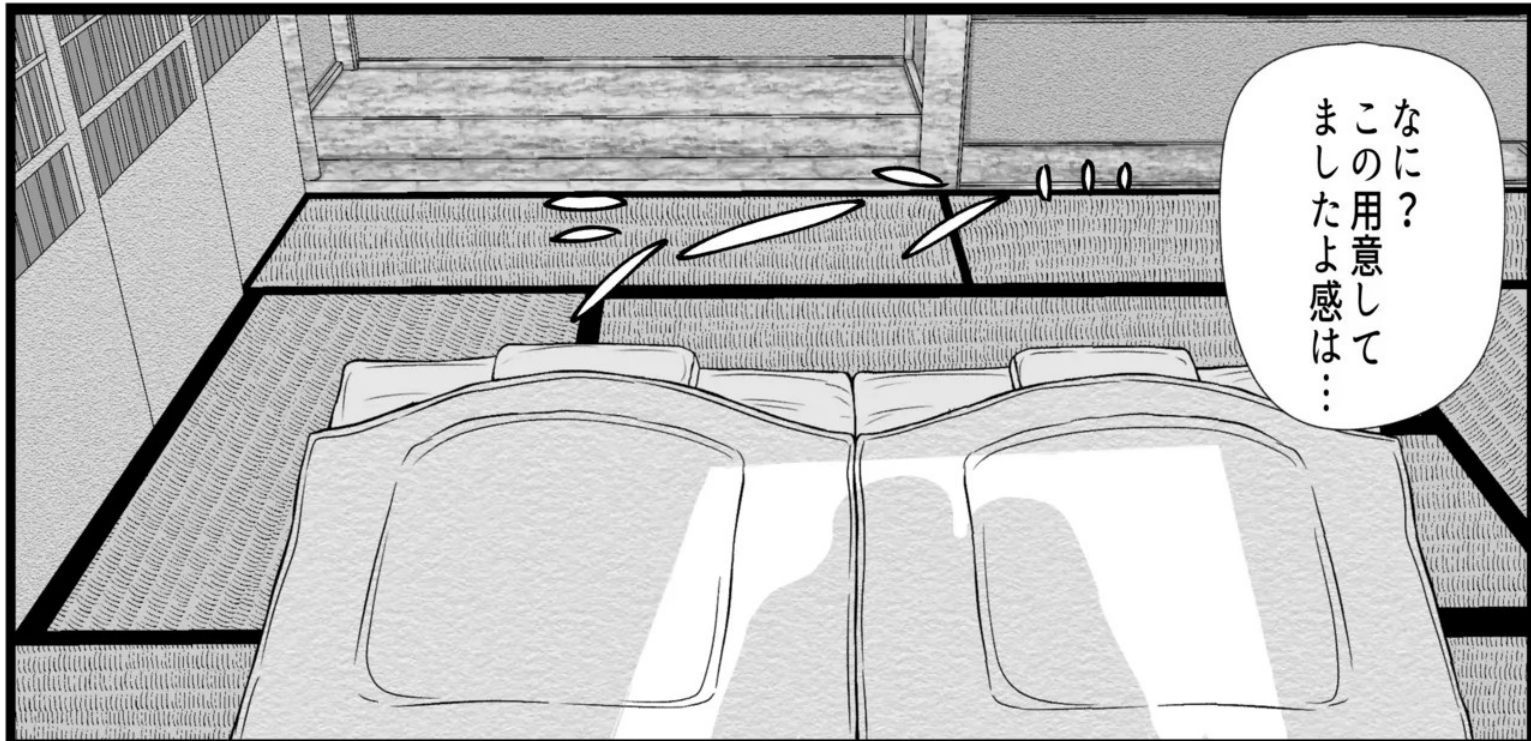


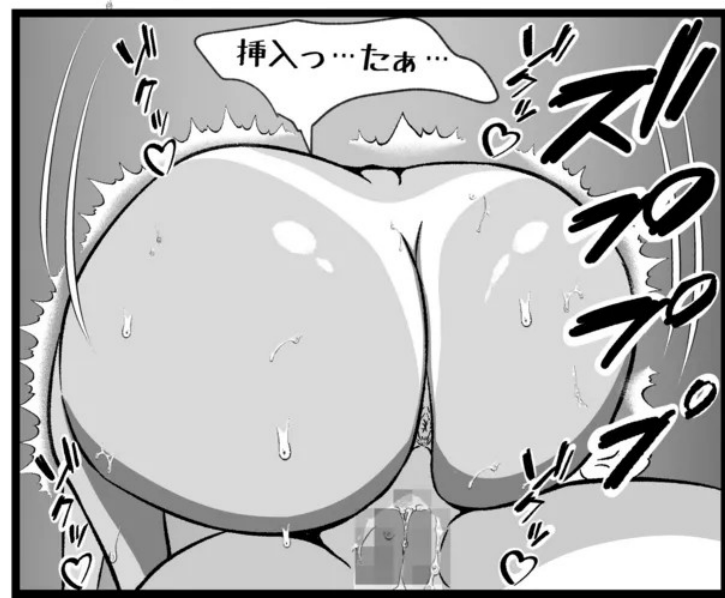
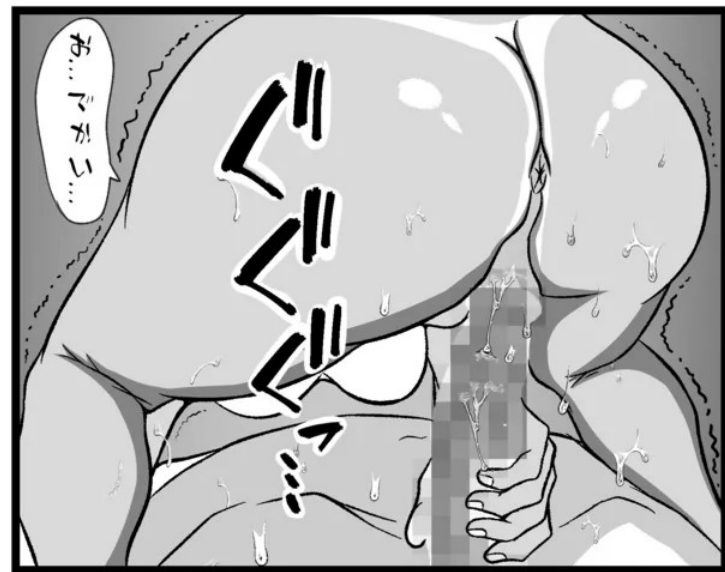


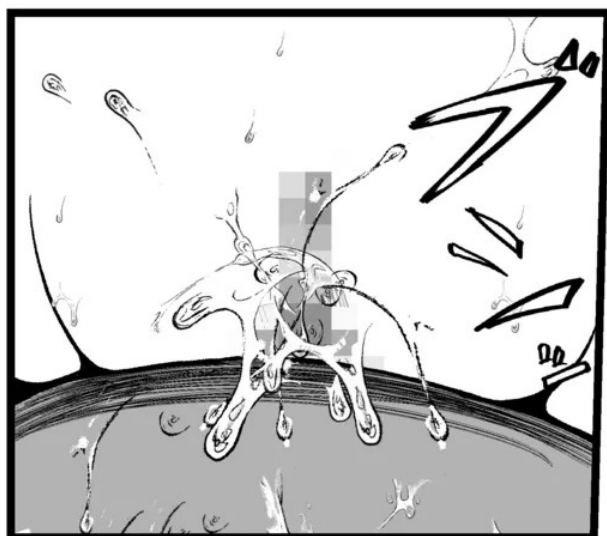
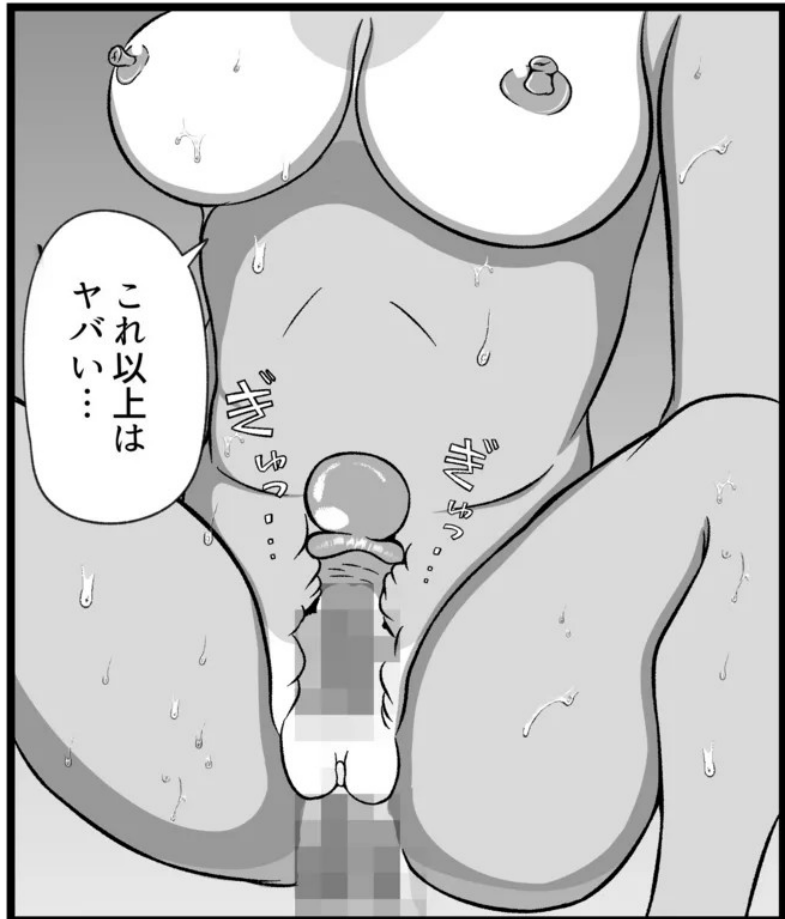




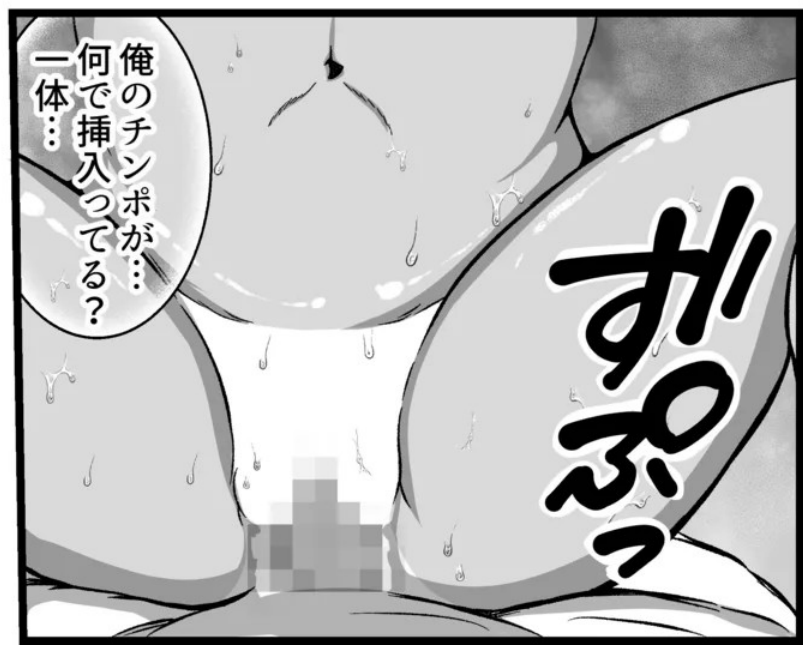
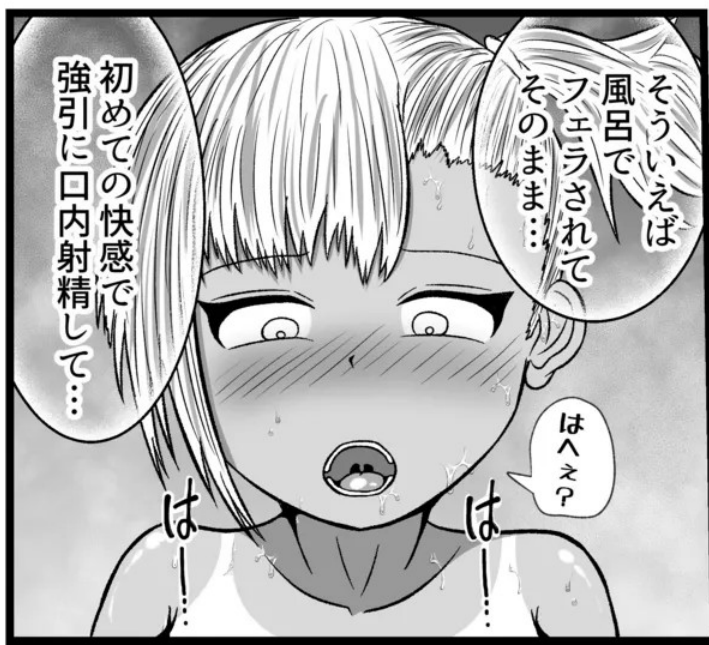










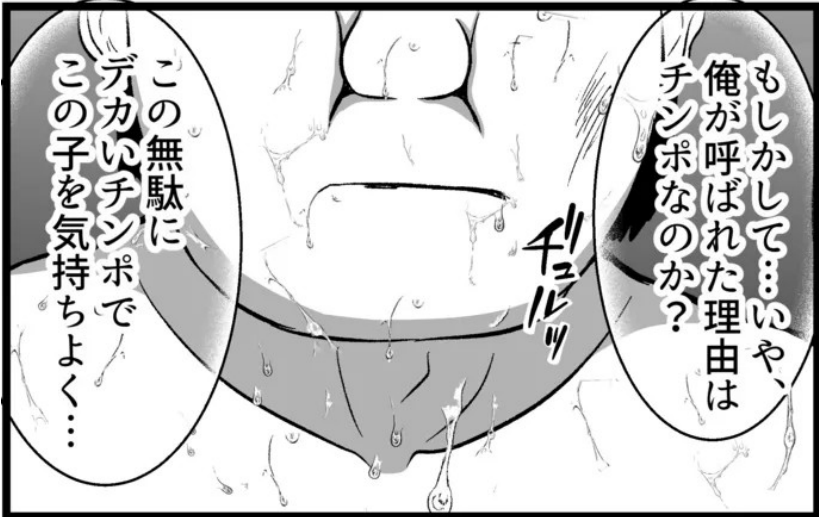






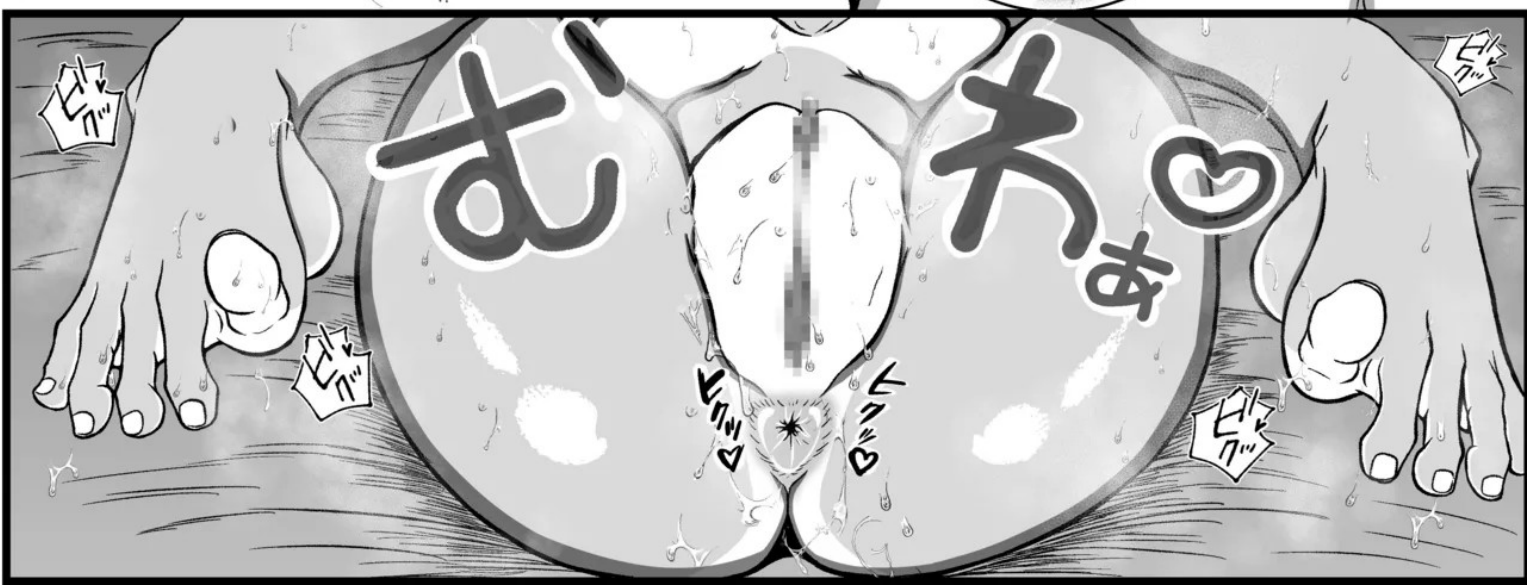
ぶはあ！

え…イッてるの…？
俺のチンポで？
てかなんで気絶してて
チンポ挿入ってたんだ？！



もしかして…いや、
俺が呼ばれた理由は
チンポなのか？

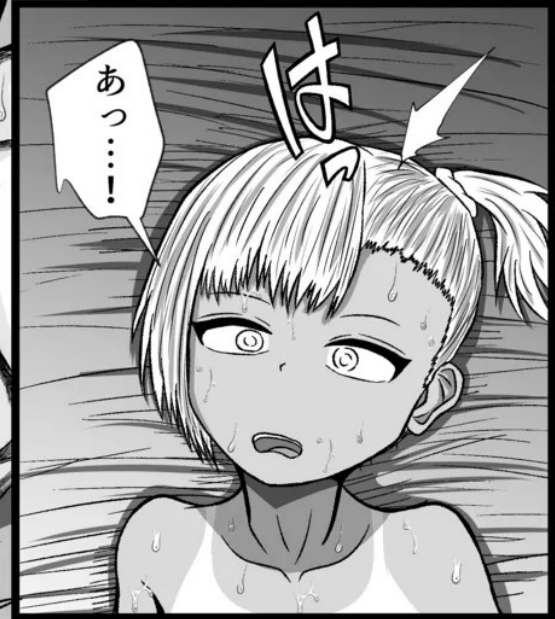
この無駄に
デカイチンポで
この子を気持ちよく…





うわっ！
ビククリした

えっ…
なに？
どうしたん？



あっ…！！



あ…
バカ…

くちゅ♡
くちゅ♡



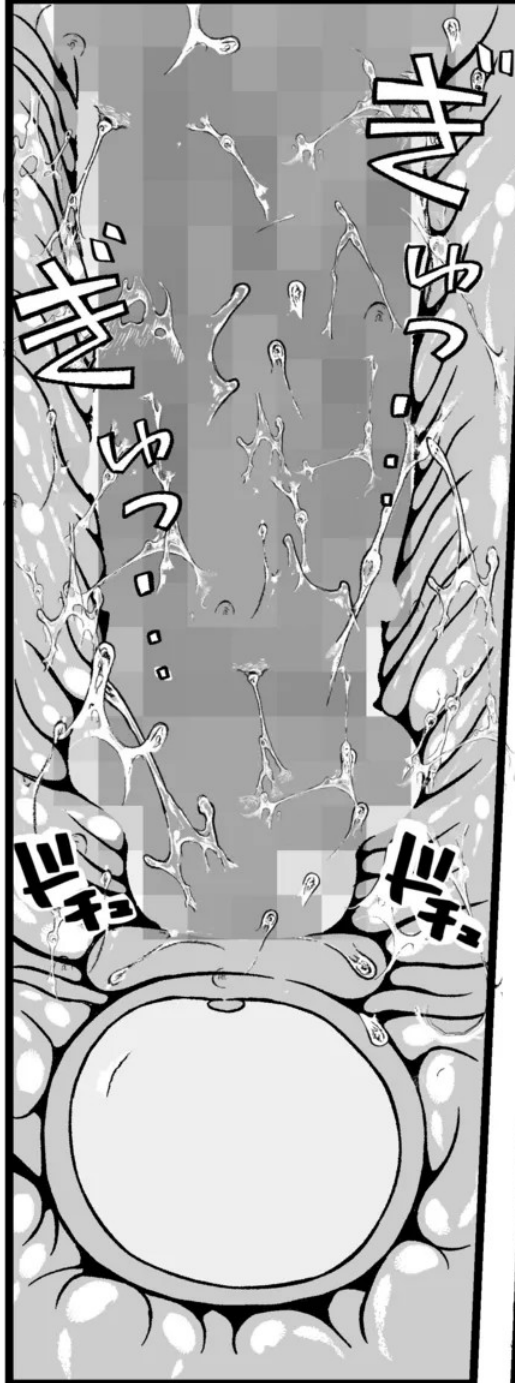
俺が呼ばれた
理由と使命
理解しました

ちよつと…！！
なに勝手に
挿入れようと
してんの！



ダメっ…
だって

はあ？
何言って





ああー!!
あかんっ!!
ピストン始まって
もうた...!!
イキそうっ...
やばい!

はっ



コイツ：今まで
おとなしかったのに
何で急に積極的
なんねん...?

はっ

はっ

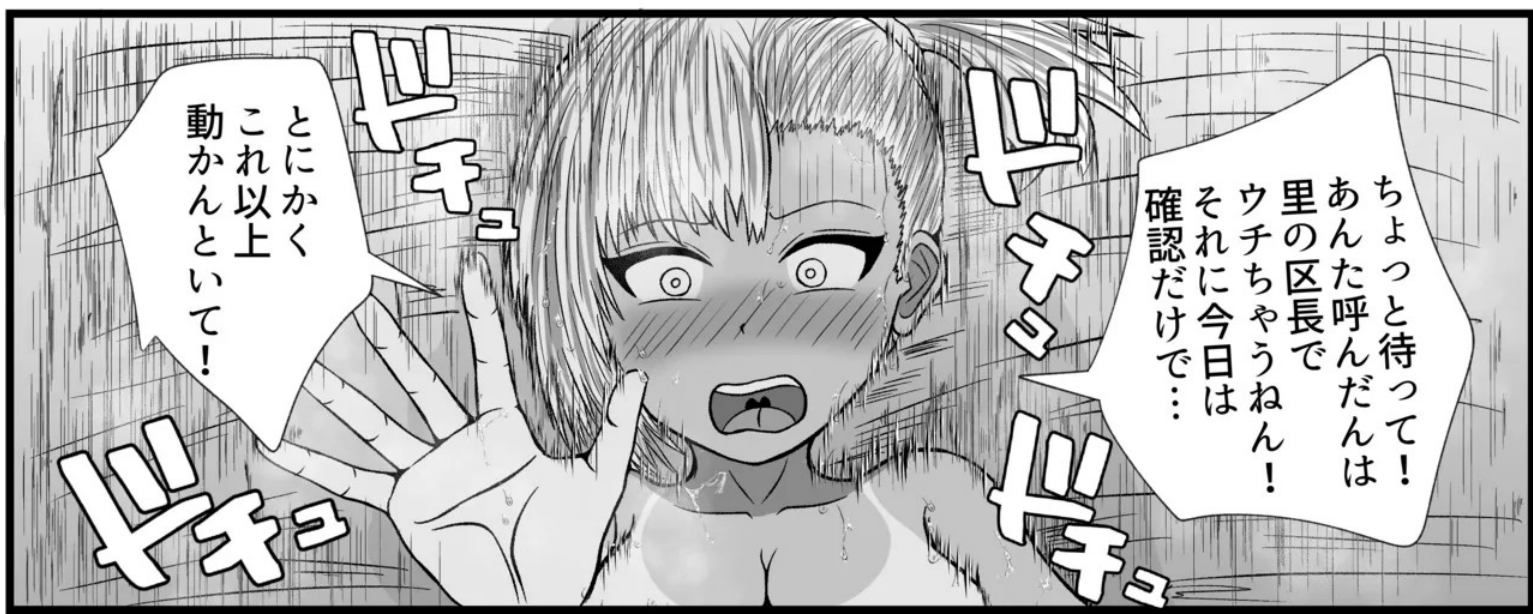
はっ

はっ

はっ

はっ

ヤバイ...
このままじゃ
本気イキしそう...
なんとかして
止めんとマズい事に...



ちよつと待つて!
あんた呼んだんは
里の区長で
ウチちやうねん!
それに今日は
確認だけで...

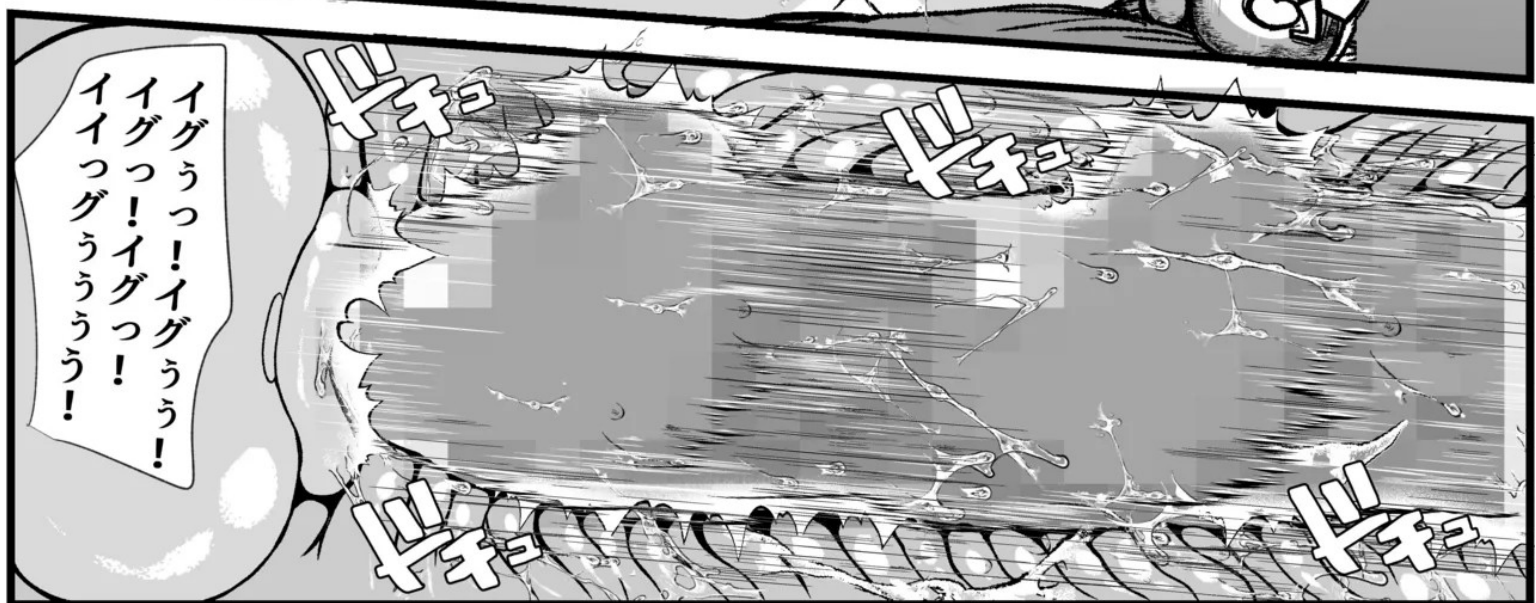
とにかく
これ以上
動かんといて!

ドキュ

ドキュ

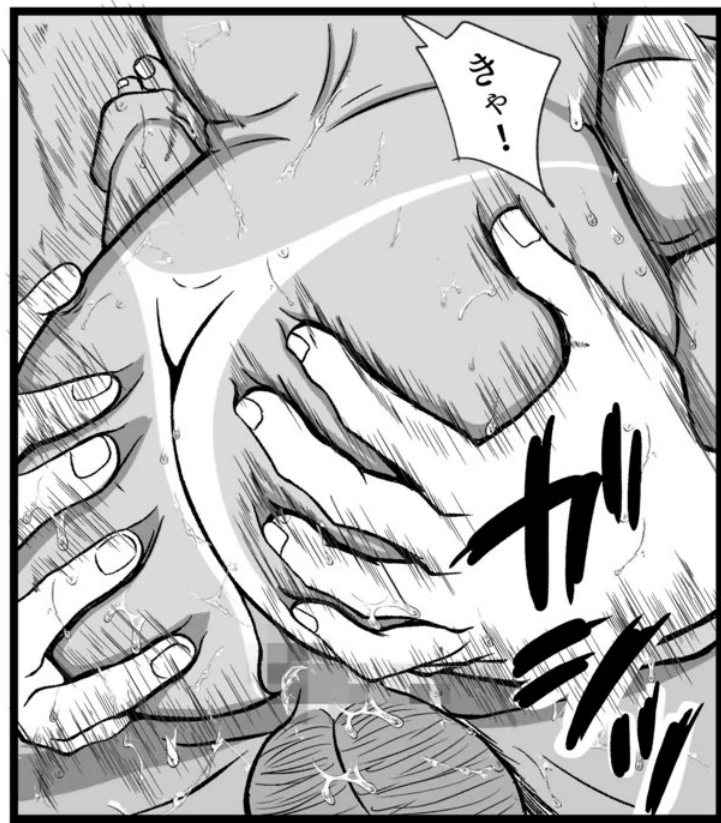
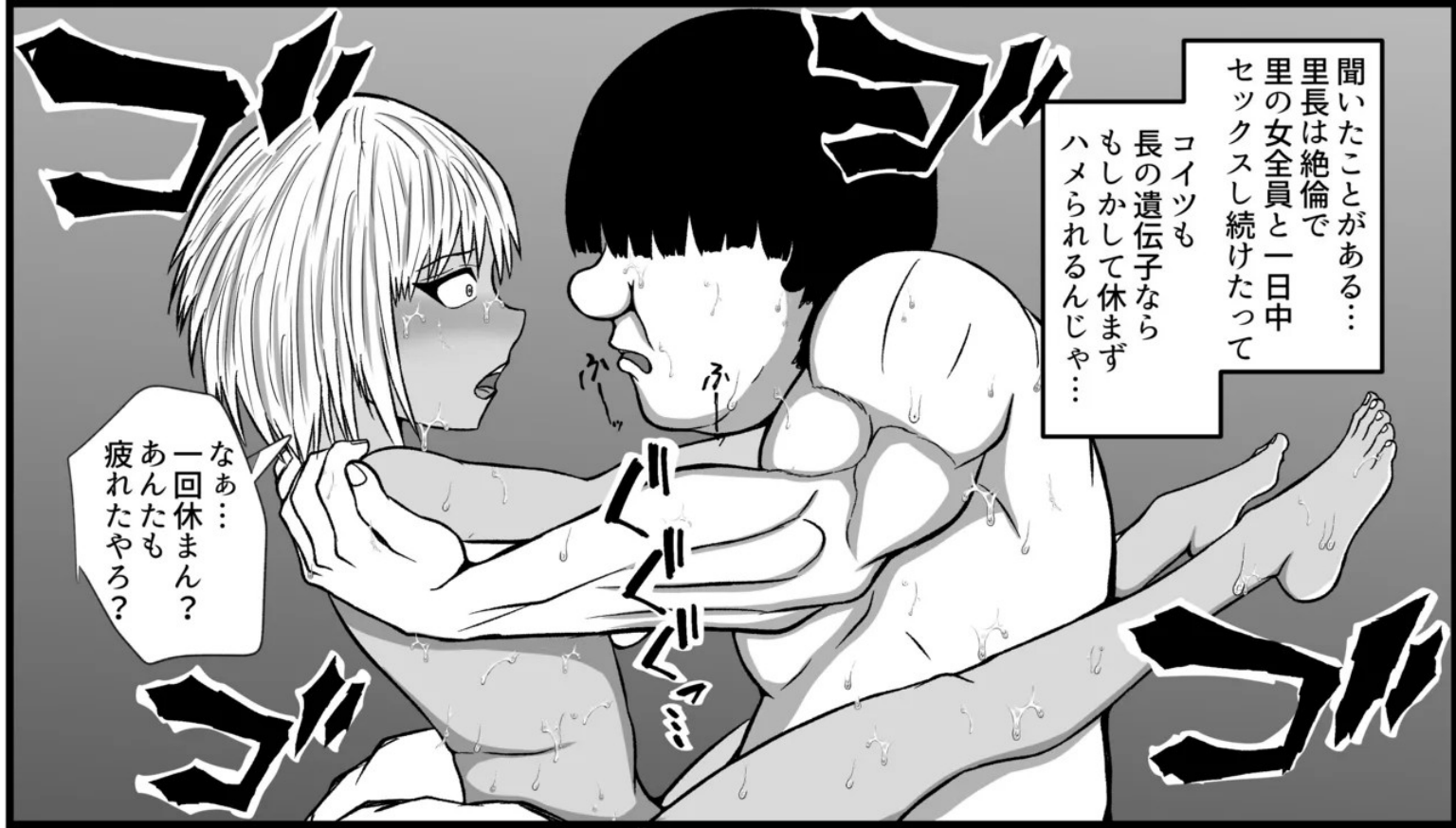
ドキュ

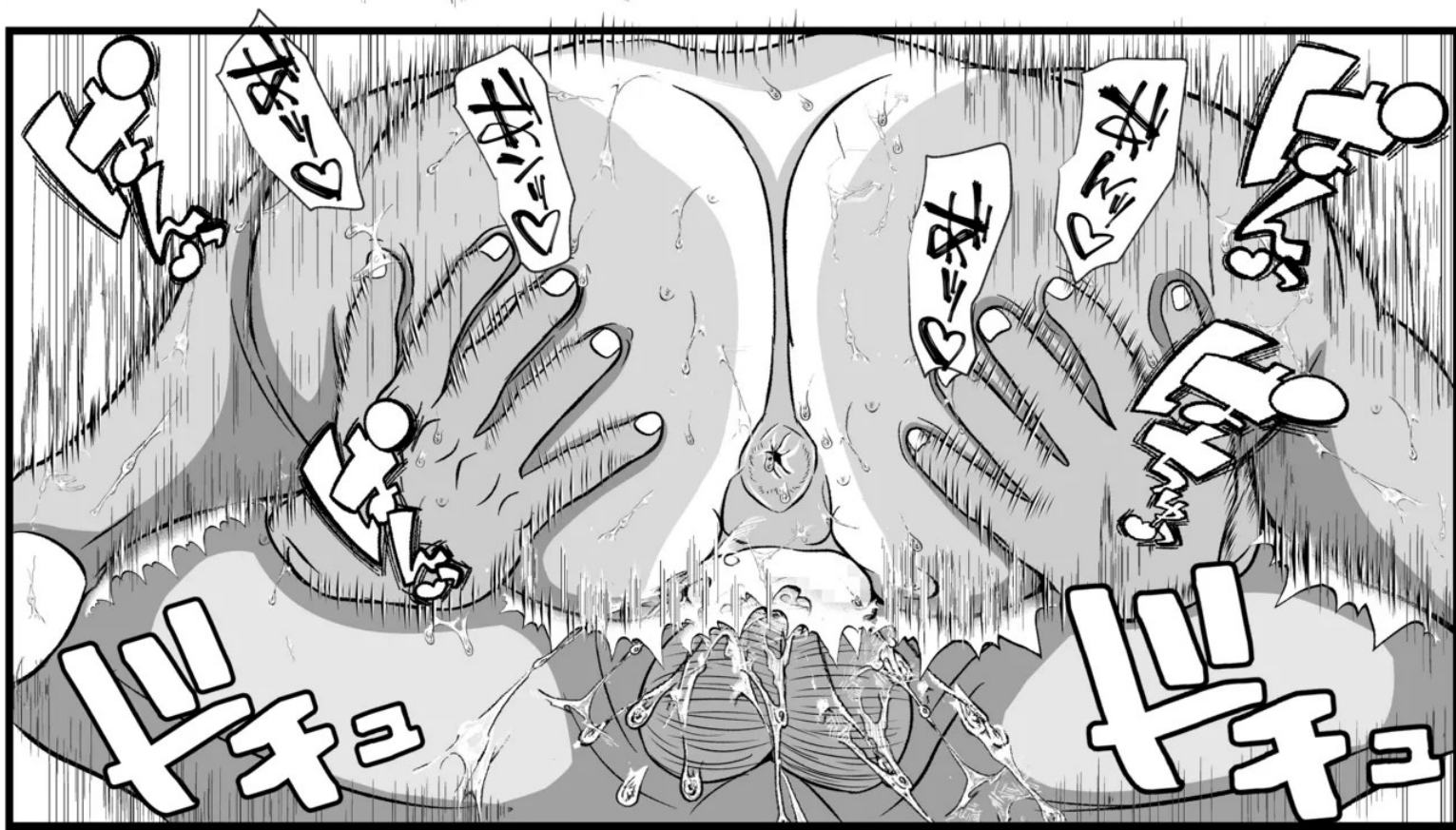
ドキュ



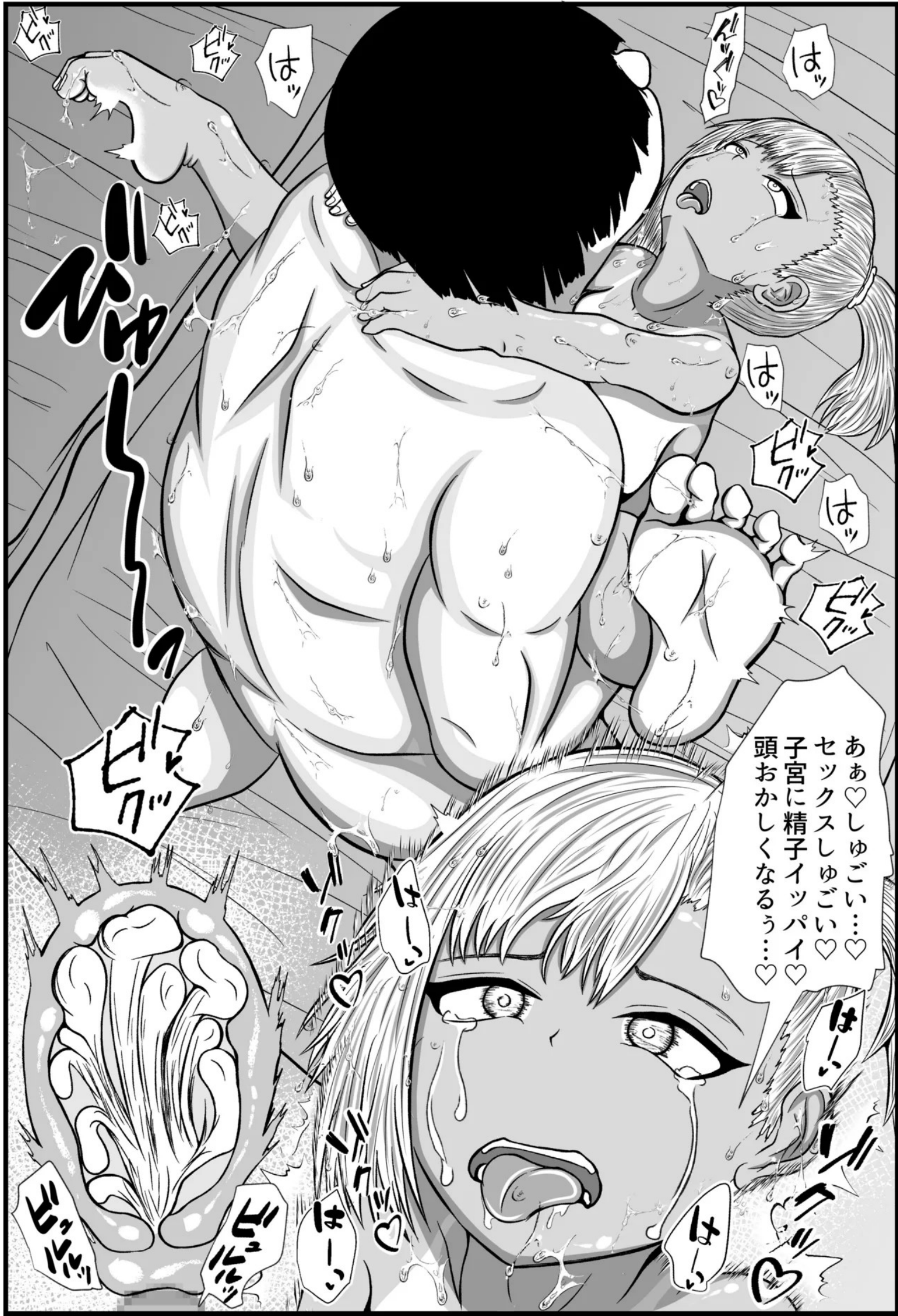




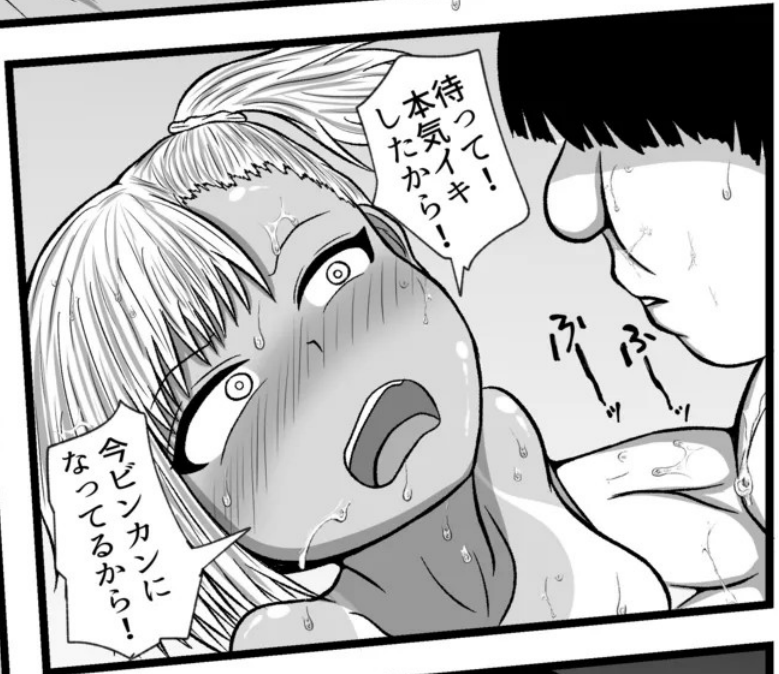




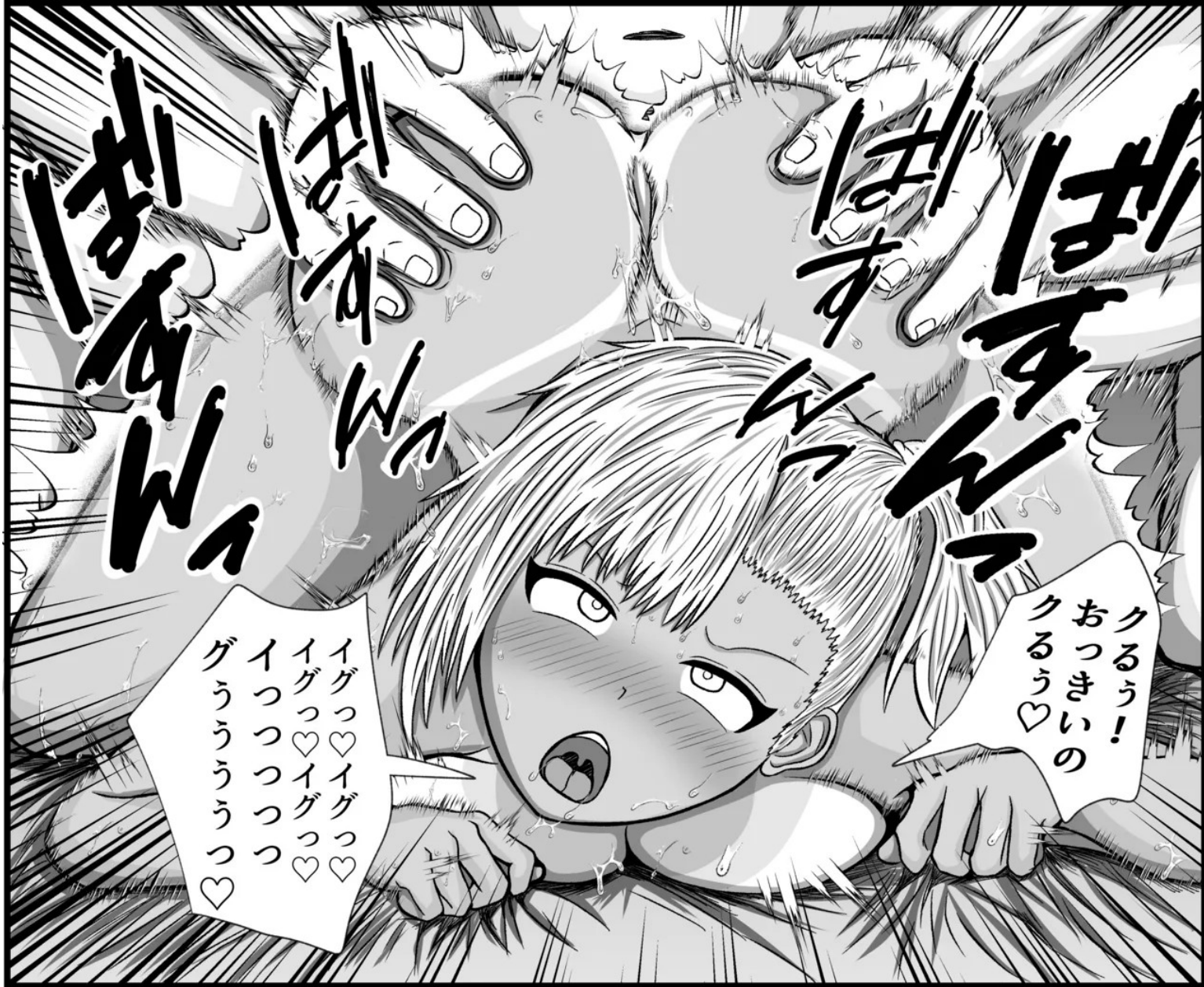




ああ♡しゅごい♡♡
セックスしゅごい♡
子宮に精子イッパイ♡
頭おかしくなるう…♡



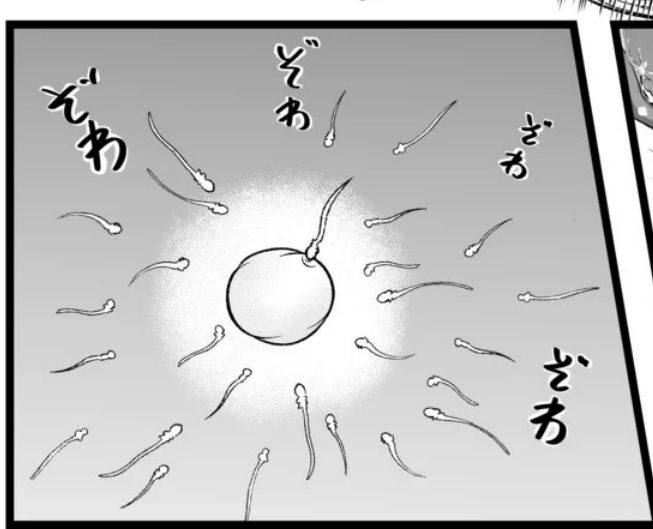
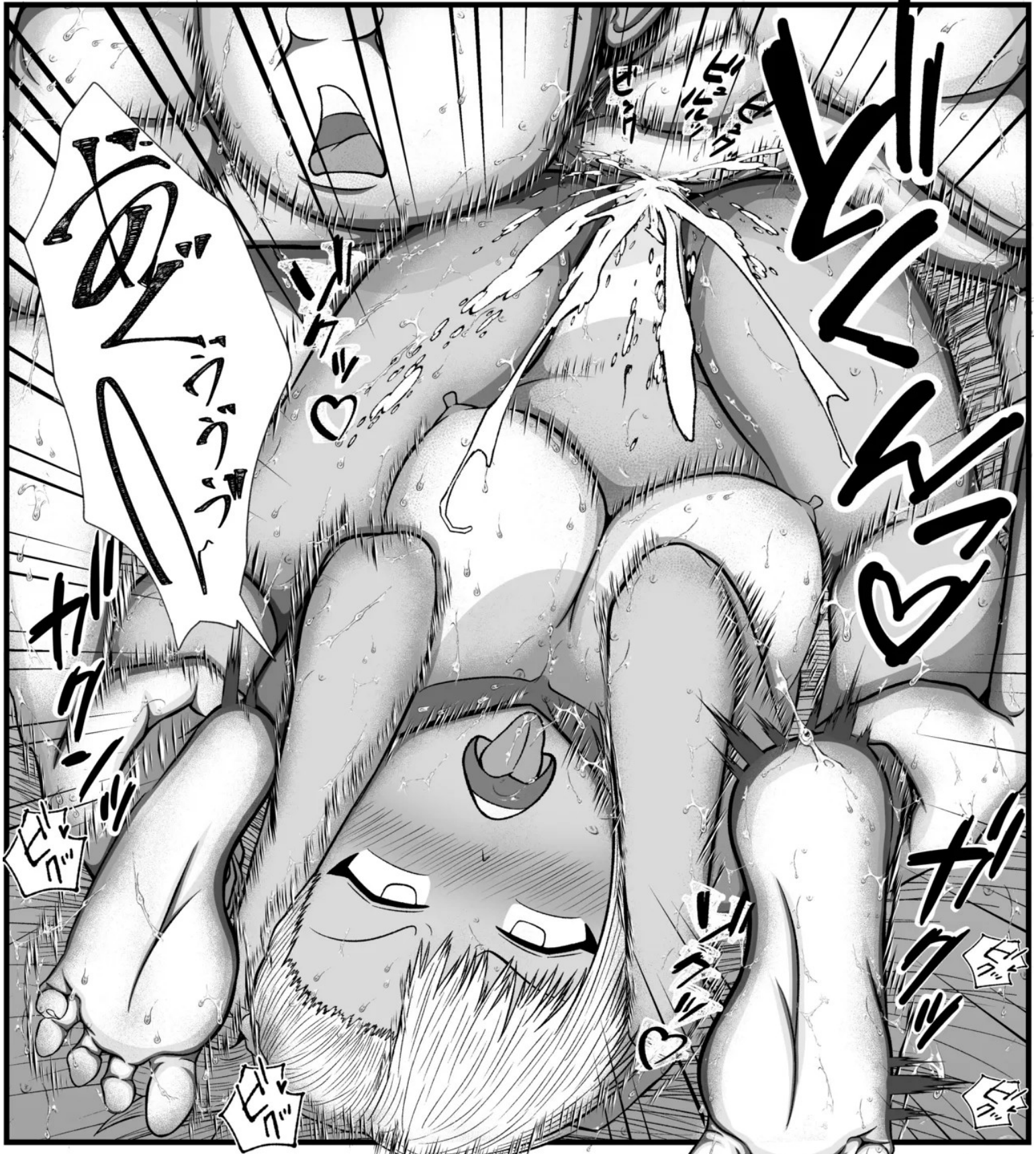


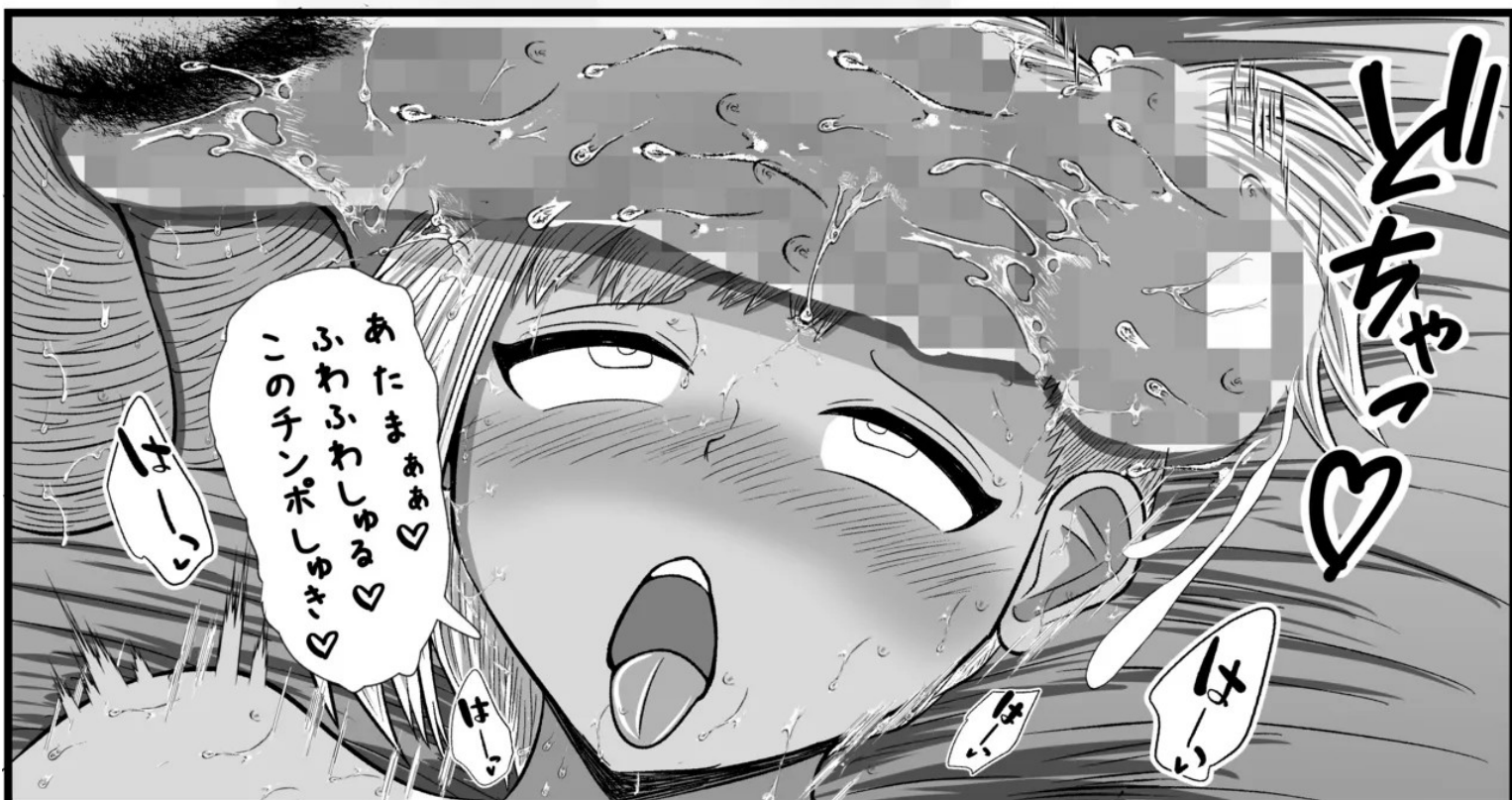












ご購入いただき誠にありがとうございます。

今回はいつもよりページ数を増やしてみました…正直疲れました…笑

私のこんな低い画力で大変という事実に向き合い、世の中の作家様の凄さを感じました

しかし私も諦めず日々精進していき、高みを目指します

今後ともよろしくお願いいたします



アエン丸